

予算科目	07商工費	01商工費	01商工総務費	02消費生活推進事業	
細事業名	01 消費生活推進事業			決算書	P.248
総合計画	計画項目	13 防犯・交通安全対策の推進			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
4,319千円		4,609千円		290千円	93.7% 4,594千円
目的	消費生活センターで、相談対応及び情報提供等を行うとともに消費生活学習グループの活動に対する支援を行うことにより、市民の消費生活の安定、向上を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○消費生活相談事業 4,059千円</p> <p>消費生活センターに専門相談員を配置し、市民からの相談に対応するとともに、消費生活に関する情報の収集・提供を行った。</p> <p>【開設場所】 寄り添い支援総合サポートセンター内</p> <p>【相談時間】 午前9時～正午、午後1時～午後4時</p> <p>【相談受付件数】 292件（販売購入：253件、事故：1件、その他：38件）</p> <p>【消費生活セミナー開催】</p> <p>第1回（7月3日）葬儀について：消費生活に関する寸劇（参加者 61人）</p> <p>第2回（3月4日）知的財産権：消費生活に関する寸劇（参加者 73人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員賃金等（1人）※1人分は市民生活相談事業から支出 2,034千円 ・研修旅費等 622千円 ・消費生活セミナー開催費用 139千円 ・参考図書、チラシ、事務用品等購入費 332千円 ・電話、FAX料金等 107千円 ・公用車維持管理費（2台） 825千円 <p>○消費生活学習グループ活動費補助金 260千円</p> <p>【会員数（平成28年3月31日現在）】 131人</p> <p>峰山 31人、大宮 30人、網野 14人、丹後 19人、弥栄 17人、久美浜 20人</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、老人会・街頭等での啓発活動 ・消費生活学習会等の実施 				
主な財源	府補	消費生活行政活性化事業費補助金（10/10）		2,623千円	
	府補	消費生活行政活性化事業費補助金（1/2）		220千円	
評価・課題等	<p>○専門相談員が、市民からの消費生活相談に迅速かつ適切に対応することにより、消費者被害の防止と早期解決に寄与することができた。</p> <p>○市民への情報提供や啓発物品の配布、消費生活学習グループの啓発活動等を通して、消費者被害を未然に防ぐとともに、消費トラブルに対する意識を高めることができた。</p> <p>○相談内容が複雑化しており、情報収集と研修による相談員のスキルアップが必要である。</p> <p>○潜在的被害者の掘り起こしと、地域の見守りの強化を推進する必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課、商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	01商工総務費	50商工総務一般経費	
細事業名	01 商工総務一般経費			決算書	P.250
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
3,096千円		3,497千円		401千円	88.5% 4,380千円
目的	商工業振興に係る業務を推進するために必要な経費及び公用車等の維持管理経費				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○公用車維持管理費 1,830千円</p> <p>（燃料代、車検代、修理代、保険料等）</p> <p>※商工観光部管理台数：11台</p> <p>○事務用品、商工観光部イベント用コピーカウント料 714千円</p> <p>○事務補助業務人材派遣委託料 552千円</p> <p>（平成27年4月1日～平成27年6月30日、産休育休代替1人）</p>				
主な財源	諸収入	市有自動車損害共済金		99千円	
評価・課題等	商工業振興に係る業務の円滑化に資することができた。				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	01商工会助成事業											
細事業名	01 商工会助成事業			決算書	P.250										
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築													
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額										
79,845千円		80,503千円		658千円	99.1% 80,503千円										
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営相談等の支援活動、地域活性化事業等に対して補助金を交付し、商工業の総合的な振興・発展を図る。														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○小規模事業経営支援事業補助金 67,003千円</p> <p>京丹後市商工会による経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援し、商工業者の経営安定及び成長を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営改善普及指導事業分 61,000千円 (小規模事業者への経営指導、経営相談等の事業費及び指導職員の設定費) 地域総合振興事業分 6,003千円 (販路開拓、小売商業活性化、特産品づくり活動等) <p>○織物指導事業補助金 9,342千円</p> <p>延べ2,456件の織物指導、織機調整事業を支援し、丹後織物の技術の維持・継承と製品品質の確保を図るとともに、経営環境が厳しい織物事業者の経費負担の軽減を図った。</p> <p>○地域活性化事業補助金 3,500千円</p> <p>地域活性化を目的とした京丹後商工会の開催を支援した。</p> <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td> <td>京丹後商工祭</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>3,500千円</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>5,278千円</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>10月24日、25日</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>丹後王国「食のみやこ」</td> </tr> </table>					イベント名	京丹後商工祭	補助金額	3,500千円	補助対象経費	5,278千円	開催日	10月24日、25日	開催場所	丹後王国「食のみやこ」
イベント名	京丹後商工祭														
補助金額	3,500千円														
補助対象経費	5,278千円														
開催日	10月24日、25日														
開催場所	丹後王国「食のみやこ」														
主な財源	府補	未来づくり交付金(商工会助成事業)			6,200千円										
評価・課題等	<p>○商工会における経営改善普及事業指導職員の確保を図ることで、指導職員による小規模事業者の巡回指導が年間5,300件以上行われるなど、安定的な小規模事業者への支援活動が行われるとともに、織物事業者への支援、産業振興に資するイベントなどが実施され、厳しい地域経済状況下において商工業の振興に資することができた。</p> <p>○厳しい経営環境や後継者不在による廃業等が進行しており、人材の育成・確保も含め引き続き地域経済活性化に向けた支援が必要である。</p>														
事業所管課	商工観光部/商工振興課														

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業	
細事業名	01 丹後地域地場産業振興センター運営費補助金			決算書	P.252
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
29,850千円		29,850千円		0千円	100.0% 29,850千円
目的	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う地場産業の振興を図る各種事業を支援することで、本市における地場産業の総合的な振興を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設管理、丹後ブランド商品の販売、地場産品の販路拡大、新商品の開発、人材育成、情報の収集、提供など地場産業の振興を図る各種事業の実施に対し、補助金を交付した。</p> <p>○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 29,850千円</p> <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 染色体験の実施(市民・観光客等465人が体験) 地場産品の常設展示即売(197業者、約2,597品目、年間売上43,418千円、前年比8,427千円増) Tango Good Goods認定事業及び販売促進事業の実施 平成27年度認定数:40業者 98商品 見本市の開催:「Tango Good Goods見本市」10/3・4 アミティ丹後 来場者数:704人、小売店等来場者数:15人、商談数:33件 各地域主催物産展、各種展示商談会・イベント等への出展 丹後のええもんうまいもん展(北千里12回、京都2回、名古屋4回) 海の京都丹後のうまいもんフェアほか 出展事業者数:延べ224業者 人材育成事業 蚕糸業人材育成派遣事業 2人 講座開設(ECサイト運営等) 9講座 受講者延べ30人 高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業(平成28年3月~) ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業(都市部企業4社受け入れ) 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○物産展、展示商談会などに出展し、地場産品のPR及び販売促進を年間通して実施することで、地場産業の一層の振興を図ることができた。</p> <p>○人材育成事業を拡充実施する中、失業者の雇用促進、市内事業者の育成等を行うことができた。</p> <p>○1人当たりの購買単価については、過去5年で最も高く、ふるさと納税謝礼品の受注が大きく影響した。</p>				
事業所管課	商工観光部/商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業	
細事業名	02 京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金			決算書 P.252	
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築				
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
2,660千円		2,660千円		0千円	100.0%
2,660千円					2,660千円
目的	他市町とも連携しつつ、「特産品ショップ ホット丹後」を起点とした都市部における丹後の情報・魅力の発信と特産品等の販売を強化する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>丹後の情報・魅力発信拠点施設（アンテナショップ）である「特産品ショップ・ホット丹後」が行う、京丹後市のPR、ブランド品の紹介、販売促進、販路拡大等を図るための事業運営に対し、補助金を交付した。</p> <p>○京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金 2,660千円</p> <p>【実施状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホット丹後会員数 2,065人（平成28年3月末現在） ・購入者数 年間 延べ25,609人（前年比2,697人増） ・販売実績額 年間 19,273千円（前年比1,566千円増） 購入者数・販売実績額とも平成24年度までの減少傾向から反転し、3年連続して増加。 ・常設店舗外での販売、PR事業（サテライト販売） KBS京都朝市、弥栄町人会 ・その他PR事業 3/20・21 会員対象「丹後ツアー」の実施（参加者98人） 静の里での昼食・入浴、アミティ丹後でのお買い物も ばら寿司づくり体験 などを実施 ・生産者による店頭販売 4業者 54回 売上2,241千円 ・京都市上京区の飲食店との企業間取り引き（3社） <p>《参考》他市町補助額 490千円（宮津市280千円、与謝野町210千円）</p>				
主な財源	府補	未来づくり交付金（京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金）		1,105千円	
評価・課題等	<p>○京丹後産の商品を450から500品目を販売しているが、販売額は対前年比で8.8%、販売品数は9.1%、来場者11.2%と増加し、市内事業者等の売上向上と京丹後産商品の知名度向上に寄与した（主に食品、野菜果物が中心）。</p> <p>○運営事業者の努力により販売額は伸びているものの自立した運営が未だ困難であり、店舗の移転・事業継続も含め検討する必要がある。</p>				
事業所管課	商工観光部/商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業	
細事業名	04 京丹後ブランド発信事業			決算書 P.252	
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築				
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
452千円		471千円		19千円	95.9%
					471千円
目的	「全国地域ブランド連携協議会」へ参画し、プロモーションイベントや物産展への出展、情報発信等を行い、京丹後市ブランドの価値とイメージの向上を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成27年度は南砺市でブランドサミットが開催され、各自治体が地域ブランド等の情報発信を行った。また、TIC TOKYOと連携して都内レストランでの食材フェアを実施したほか、埼玉の量販店と連携して物産展を行い、市内産の食材や特産品をPRした。</p> <p>○職員旅費 226千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国地域ブランドサミット（富山県南砺市：1回） 来場者数：約8,400人 ・協議会総会（東京：1回） ・協議会担当者会議（大阪：1回） ・TIC TOKYO事業食材プロモーション（東京：1回） 都内レストランで、市内産食材を用いたメニューを提供するフェアを実施 実施期間：H28.1.8(金)～2.6(金)、実施店舗：東京都内レストラン3店舗 ・ドン・キホーテ連携事業物産展（埼玉：1回） 実施期間：H28.1.22(金)～24(日)、実施場所：メガドン・キホーテ浦和原山店 <p>○有料道路通行料（ブランドサミット） 19千円</p> <p>○全国地域ブランド連携協議会会費及び事業負担金 207千円</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○京丹後産商品を全国的なブランドにするため、「全国地域ブランド連携協議会」に参画し、全国地域ブランドサミットや物産展に出展する場を設けることにより、京丹後産商品の訴求力向上を図った。</p> <p>○協議会の取組は限定的であり、今後、事業継続等方向性を検討する必要がある。</p>				
事業所管課	商工観光部/商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業															
細事業名	01 あんしん借換資金等利子補給事業			決算書 P.252															
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築																		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額															
48,706千円	51,000千円	2,294千円	95.5%	53,000千円															
目的	市内商工業者等が借り入れた事業資金を返済する際に負担した利子の一部を補給することにより、資金調達を円滑化し、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進を図る。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市内商工業者等が「京都府中小企業融資制度」、「京丹後市商工業振興融資制度」及び政府系金融機関融資制度に基づき事業資金を借り入れ、その返済にあたり負担した利子について、借入利率の1.7%を超える部分（最大2.5%分で、1事業者当たり年度内100万円が限度）を補給し事業資金借入にかかる負担を軽減することにより、経営の安定化と成長の促進を図った。</p> <p>○京丹後市商工業経営安定利子補給金 48,706千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付決定事業者数 494事業者 ・交付決定融資件数 1,082件 <p>【内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>制度区分</th> <th>交付決定融資件数</th> <th>交付決定金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あんしん借換融資制度</td> <td>573件</td> <td>7,333千円</td> </tr> <tr> <td>その他府融資制度</td> <td>314件</td> <td>37,681千円</td> </tr> <tr> <td>京丹後市商工業振興融資制度</td> <td>8件</td> <td>91千円</td> </tr> <tr> <td>政府系金融機関融資制度</td> <td>187件</td> <td>3,601千円</td> </tr> </tbody> </table>				制度区分	交付決定融資件数	交付決定金額	あんしん借換融資制度	573件	7,333千円	その他府融資制度	314件	37,681千円	京丹後市商工業振興融資制度	8件	91千円	政府系金融機関融資制度	187件	3,601千円
制度区分	交付決定融資件数	交付決定金額																	
あんしん借換融資制度	573件	7,333千円																	
その他府融資制度	314件	37,681千円																	
京丹後市商工業振興融資制度	8件	91千円																	
政府系金融機関融資制度	187件	3,601千円																	
主な財源																			
評価・課題等	<p>○信用保証料補助制度とともに資金借入に伴う負担を軽減することにより、設備投資や運転資金の借入、また借換による有利な借入への移行や実質的な借入期間の延長が行いやすくなり、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。</p> <p>○地域の経済情勢等を見極めつつ、補給率等を見直すとともに、併せて市内商工業者の投資等への支援の在り方を検討していく必要がある。</p>																		
事業所管課	商工観光部/商工振興課																		

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業																																																											
細事業名	02 信用保証料補助金			決算書 P.252																																																											
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築																																																														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																											
37,578千円	37,994千円	416千円	98.9%	42,000千円																																																											
目的	市内中小企業者が事業運営に必要な運転資金や設備資金を借り入れた際に負担する信用保証料の一部を補助することで、事業資金調達の円滑化と負担軽減を図る。																																																														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>経済情勢を考慮し、平成26年度から適用している特例補助率を維持し、投資需要の高い中規模投資への補助率を引き上げて補助金を交付することで、市内中小企業者の事業資金借入に係る負担軽減と経営安定化及び投資の促進を図った。</p> <p>○京丹後市信用保証料補助金 37,578千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付決定件数：260件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>建設業</th> <th>製造業</th> <th>卸売・小売業</th> <th>飲食店宿泊業</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>件数 56</td> <td>60</td> <td>75</td> <td>42</td> <td>27</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>交付額 7,727</td> <td>8,661</td> <td>10,592</td> <td>6,488</td> <td>4,110</td> <td>37,578</td> </tr> <tr> <td>(参考) H26</td> <td>件数 81</td> <td>50</td> <td>85</td> <td>43</td> <td>34</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>(参考) H26</td> <td>交付額 12,342</td> <td>7,564</td> <td>13,598</td> <td>6,258</td> <td>3,804</td> <td>43,566</td> </tr> </tbody> </table> <p>・補助率（平成26年度と同様に特例として一部補助率を引上げ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>借入額</th> <th>基本補助率</th> <th>H27特例補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100万円以内</td> <td>80%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>100万円超300万円以内</td> <td>70%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>300万円超500万円以内</td> <td>60%</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>500万円超700万円以内</td> <td>50%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>700万円超1,000万円以内</td> <td>40%</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>1,000万円超2,000万円以内</td> <td>30%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>2,000万円超</td> <td>30% (2,000万円相当分)</td> <td>30% (2,000万円相当分)</td> </tr> </tbody> </table>				業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店宿泊業	その他	合計	H27	件数 56	60	75	42	27	260	H27	交付額 7,727	8,661	10,592	6,488	4,110	37,578	(参考) H26	件数 81	50	85	43	34	293	(参考) H26	交付額 12,342	7,564	13,598	6,258	3,804	43,566	借入額	基本補助率	H27特例補助率	100万円以内	80%	80%	100万円超300万円以内	70%	70%	300万円超500万円以内	60%	65%	500万円超700万円以内	50%	60%	700万円超1,000万円以内	40%	55%	1,000万円超2,000万円以内	30%	40%	2,000万円超	30% (2,000万円相当分)	30% (2,000万円相当分)
業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店宿泊業	その他	合計																																																									
H27	件数 56	60	75	42	27	260																																																									
H27	交付額 7,727	8,661	10,592	6,488	4,110	37,578																																																									
(参考) H26	件数 81	50	85	43	34	293																																																									
(参考) H26	交付額 12,342	7,564	13,598	6,258	3,804	43,566																																																									
借入額	基本補助率	H27特例補助率																																																													
100万円以内	80%	80%																																																													
100万円超300万円以内	70%	70%																																																													
300万円超500万円以内	60%	65%																																																													
500万円超700万円以内	50%	60%																																																													
700万円超1,000万円以内	40%	55%																																																													
1,000万円超2,000万円以内	30%	40%																																																													
2,000万円超	30% (2,000万円相当分)	30% (2,000万円相当分)																																																													
主な財源																																																															
評価・課題等	<p>○資金調達にかかる初期費用への補助を行うことで、市内中小企業者の資金調達の円滑化及び経営上の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。</p> <p>○地域の経済情勢等を見極めつつ、補助率の見直しを含め、効果的な支援の在り方を検討していく必要がある。</p>																																																														
事業所管課	商工観光部/商工振興課																																																														

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業																							
細事業名	03 商工業支援事業			決算書 P.252																							
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築																										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																							
13,417千円	13,972千円	555千円	96.0%	12,749千円																							
目的	商店街等が行う賑わいづくりのための取組や、市民等が行う新たな取組等を対象に支援し、地域経済の活性化を図る。																										
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○賑わい倍増商店街補助金 1,272千円</p> <p>人々が集い「交流」する商店街づくりを推進するため、商店街が実施する誘客・賑わいづくりなどの施設の整備に対して、京都府と連携して支援を行った。</p> <p>○商店街名…峰山御旅商店会 ○整備施設…バリアフリートイレの整備 ○補助率……2/3 (府1/3・市1/3)</p> <p>○商工業支援補助金 12,145千円</p> <p>市民等が行う創業や空き店舗の活用、新商品開発や販路開拓等に関する取組を支援し、商工業の振興を図った。</p>																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新商品・新製品開発事業</td> <td>3件</td> <td>460千円</td> </tr> <tr> <td>創業支援事業(創業時)</td> <td>8件</td> <td>6,704千円</td> </tr> <tr> <td>空き店舗・空き工場等活用促進事業(開業時)</td> <td>2件</td> <td>1,514千円</td> </tr> <tr> <td>家賃補助(創業支援、空き店舗等活用促進事業)</td> <td>9件</td> <td>1,484千円</td> </tr> <tr> <td>国内外販路開拓促進事業</td> <td>7件</td> <td>1,783千円</td> </tr> <tr> <td>知的財産権取得支援事業</td> <td>1件</td> <td>200千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30件</td> <td>12,145千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業内容	件数	補助金額	新商品・新製品開発事業	3件	460千円	創業支援事業(創業時)	8件	6,704千円	空き店舗・空き工場等活用促進事業(開業時)	2件	1,514千円	家賃補助(創業支援、空き店舗等活用促進事業)	9件	1,484千円	国内外販路開拓促進事業	7件	1,783千円	知的財産権取得支援事業	1件	200千円	合計	30件
事業内容	件数	補助金額																									
新商品・新製品開発事業	3件	460千円																									
創業支援事業(創業時)	8件	6,704千円																									
空き店舗・空き工場等活用促進事業(開業時)	2件	1,514千円																									
家賃補助(創業支援、空き店舗等活用促進事業)	9件	1,484千円																									
国内外販路開拓促進事業	7件	1,783千円																									
知的財産権取得支援事業	1件	200千円																									
合計	30件	12,145千円																									
主な財源	府補	平成27年度京都府商店街等総合振興事業費補助金	636千円																								
	府補	未来づくり交付金(商工業支援補助金)	5,500千円																								
評価・課題等	<p>○商店街の賑わいづくりや、市内事業者等が行う創業・空き店舗の活用・新商品の開発等に対して支援を行い、市内商工業の振興及び自立化の促進を図った。</p> <p>○市内においては一定の創業が行われているが、創業後の事業運営が円滑に行われるよう、セミナー開催などの相談・支援体制の充実が必要となるほか、雇用を伴う創業を誘発する取組を検討していく必要がある。</p>																										
事業所管課	商工観光部/商工振興課																										

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業
細事業名	05 金融機関連携推進事業			決算書 P.252
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
124千円	134千円	10千円	92.5%	0千円
目的	地方創生の実現を目指し地元金融機関と締結した「地域産業振興に関する連携協定」に基づき、連携して各種事業を実施し市内企業の経済活動と市内産業の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「地域産業振興に関する連携協定」を締結した市内金融機関と連携し、京丹後市名古屋事務所を設置した愛知県内の金融機関を対象としたキャラバンを実施し、愛知県内からの誘客を図った。</p> <p>○中京圏誘客推進事業補助金(愛知県内信用金庫誘客キャラバン) 121千円</p> <p>愛知県内の信用金庫が行う年金旅行等の誘致を目的に、京丹後市観光協会が行う「愛知県内信用金庫誘客キャラバン」を支援した。</p> <p>日時:平成27年10月22日(木曜日)、23日(金曜日)</p> <p>訪問先:愛知県内の8信用金庫</p> <p>主催:京丹後市観光協会</p> <p>協力:京丹後宿おかみさんの会、京都北都信用金庫、但馬信用金庫、京丹後市</p> <p>○職員旅費 3千円</p> <p>【参考】その他連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外ビジネス支援セミナー(主催:㈱京都銀行・JETRO・京丹後市) ・シニア人材と市内企業とのマッチング事業 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○市内金融機関と連携し、互いのネットワーク等を活用して各種事業を実施することで、市内事業者の事業活動を支援することができた。</p> <p>○金融機関と日々の情報交換等により連携・協力体制を強化し、市内事業者にとって必要な支援事業を実施していく必要がある。</p>			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業
細事業名	01 企業立地促進事業			決算書 P.252
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
2,279千円	2,421千円	142千円	94.1%	3,068千円
目的	市内における企業・工場の新増設や誘致など企業・事業立地を促進し、企業成長に伴う雇用機会の拡大等、市民生活の充実・発展と産業横断的な地域経済の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【企業訪問等立地推進活動】 878千円 職員等による企業・関連団体訪問、展示商談会出展等 延べ31か所</p> <p>【企業立地ガイド等の作成】 173千円 企業立地ガイド（京丹後市PR冊子）増刷 1,500部</p> <p>【企業立地推進PRグッズ製造】 511千円 京丹後市「長寿の水」オリジナルボトル（500ml）製造 2,000本</p> <p>【企業誘致関連展示商談会出展経費等】 637千円 ・「ロジスティックソリューションフェア2015」平成27年9月7～9日（東京ビッグサイト） ・「第18回関西・機械要素技術展」平成27年10月6～9日（インテックス大阪） ・「あまがさき産業フェア」平成27年10月15～16日（あましんアルカイックホール）</p> <p>【京都府市町村企業誘致推進連絡会議分担金】 80千円 「京都府工場・研究所用地案内」、「会員市町紹介リーフレット」作成等</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○森本工業団地での用地リース制度を導入することにより、区画3・4へ市内企業の立地を実現した。</p> <p>○引き続き、森本工業団地をはじめとした市内への企業立地活動を行い、多様な就業機会の創出等を促進していく必要がある。</p>			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業
細事業名	02 企業立地支援事業			決算書 P.252
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
14,508千円	14,508千円	0千円	100.0%	33,249千円
目的	市内における工場の新設及び増設を奨励することにより、雇用の拡大とものづくり産業の集積を促進し、本市産業の振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>事業所の新増設を行い、かつ正規雇用者を2人以上増加させた「指定事業所」（中小企業）に対して、企業立地助成金を交付した。</p> <p>また、旧制度（京丹後市工場立地促進条例）の経過措置により、「指定工場」に対して、工場新増設奨励金（固定資産税納付相当額）及び雇用促進奨励金（新規地元常用雇用者1人につき40万円）を交付した。（旧制度の経過措置は、平成30年度まで。）</p> <p>○新制度分 ・企業立地助成金 2件 9,000千円（市民の新規正規雇用者9人を実現）</p> <p>○旧制度分 ・工場新増設奨励金 4件 3,508千円 ・雇用促進奨励金 1件 2,000千円（市民の新規常用雇用者5人を実現）</p> <p>※指定済（H27交付対象）事業所数 6件</p>			
主な財源	府補	未来づくり交付金（企業立地支援事業）	4,000千円	
評価・課題等	<p>○助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに雇用の拡大・安定化に寄与することができた。</p> <p>○引き続き制度のPRを行い、森本工業団地をはじめ市内への企業立地を促進していく。</p>			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業
細事業名	03 工業団地維持管理事業			決算書 P.252
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
884千円	996千円	112千円	88.7%	996千円
目的	市内の5工業団地の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○光熱水費 48千円 <ul style="list-style-type: none"> ・赤坂工業団地 入口看板照明 ○工業団地環境美化業務委託料 833千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大山工業団地 側溝清掃、排水路清掃業務 39千円 ・永留工業団地 枯松伐採・集積業務 299千円 ・赤坂工業団地 法面草刈、枯松伐採・集積業務 495千円 ○土地借上料 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大山工業団地 下水道管敷設地 			
主な財源	使用料	公有財産使用料	32千円	
評価・課題等	工業団地の維持管理及び環境美化に努め、立地企業の円滑な操業に資することができた。			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業
細事業名	01 需要開拓事業			決算書 P.252
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
44,111千円	45,811千円	1,700千円	96.2%	4,000千円
目的	府と協調して織物業の生産設備導入等に支援を行い、また丹後2市2町及び関連団体でつくる丹後ファッションウィーク開催委員会の活動を支援し、織物業の振興・発展を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○織物業生産基盤支援事業補助金 39,785千円 <ul style="list-style-type: none"> 交付件数 82件 ・補助対象経費 織物業及びその関連産業の生産基盤を支えるために市内で行う生産設備の新設、更新及び改良に係る経費 ・補助金額 補助対象経費1/3以内の額(補助上限額:250万円、補助下限額:10万円) ・補助対象期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで ○丹後ファッションウィーク開催委員会補助金 4,000千円 【販路開拓事業】 首都圏で丹後産地単独の丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」を開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・10月28日~10月30日、蚕糸会館(東京都千代田区) ・商談件数136件(内新規89件)、成約件数24件[平成28年1月調査] 【第719回デザインギャラリー1953企画展事業】 日本デザインコミッティーの協力を得て、丹後テキスタイル展覧会を開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・10月14日~11月9日、松屋銀座(東京都中央区)、来場者数2,195人 ・展覧会担当 テキスタイルデザイナー須藤玲子氏、(関連イベント)松屋銀座NUNO WORKSの店舗にて「丹後織物フェア」を開催 【産官学連携事業】 関西圏のファッション関連校4校と連携作品制作を行った。 【丹後織物製品開発・販売促進事業】 女子美術大学と丹後の織物事業者で連携し、商品開発を行った。 総事業費9,413千円(京丹後市補助4,000千円、与謝野町負担1,500千円、丹後織物工業組合負担3,902千円、雑収入11千円) ○職員旅費 326千円 			
主な財源	府補	未来づくり交付金(丹後ファッションウィーク開催委員会補助金)	1,800千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○織物業生産基盤支援事業補助金は、府と市が協調実施したことにより、制度を活用する事業者が多く、織物業及びその関連産業の生産設備導入等に大きく寄与した。 ○デザインギャラリーでの展覧会の開催により、首都圏において新しい丹後の織物のイメージを打ち出すことができた。 			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業		
細事業名	02 和装産地振興事業			決算書	P.252	
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
	2,367千円	2,665千円	298千円	88.8%		3,201千円
目的	市内のきもの関連業者で組織する京丹後市きもの交流会の活動及び京丹後ちりめん祭の開催を支援するほか、全国の和装産地と連携し、和装産業等の振興・発展を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○京丹後市きもの交流会補助金 120千円 【会員数】 15事業所 (平成28年3月31日現在) 【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 京丹後ちりめん祭 (4月25・26日、アミティ丹後周辺) や「丹後たからもの展」 (3月26・27日、天橋立ワイナリー) 等への参加協力 きもの講演会 (5月27日、アミティ丹後)、ゆかた着付け教室 (8月9日、久美浜庁舎)、きもの着付け教室 (11月5日、峰山地域公民館) の開催 総事業費195千円 <p>○京丹後ちりめん祭補助金 2,140千円 会場設営、各種催事の開催及びステージ出演者への謝礼等に係る経費補助 【第65回京丹後ちりめん祭の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日・場所: 4月25日、26日 アミティ丹後周辺 総事業費: 3,661千円 主な内容: きものコーディネートコンテスト、織物の展示、呉服販売、着物レンタル着付け、お茶席、スタンプラリー抽選会 <p>○全国和装産地市町村協議会負担金 【会員数】 13市2町 10千円 ・総会の開催 (8月21日、京都市)、産地視察 (1月27日、茨城県結城市) ・シルクのまちづくり市区町村協議会と連名で国への要望活動</p> <p>○森田翁顕彰会負担金 50千円 ・ちりめん始祖森田翁慰霊祭の開催 (11月4日)</p> <p>○職員旅費等 47千円</p>					
主な財源						
評価・課題等	<p>○京丹後市きもの交流会の事業活動や京丹後ちりめん祭の開催等を通して、丹後ちりめんや着物のPRが図られ、丹後ちりめんを中心とする織物業及び関連産業の振興に寄与した。</p> <p>○きもの交流会は会員数が年々減少傾向にあるので、会員募集を継続していただく必要がある。</p> <p>○全国和装産地市町村協議会のさまざまな事業を通して本市のPRが図られたほか、全国の和装産地との課題や取組等の情報共有により、本市の施策検討に役立てることができた。</p>					
事業所管課	商工観光部/商工振興課					

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業		
細事業名	03 シルクのまちづくり事業			決算書	P.252	
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
	450千円	620千円	170千円	72.5%		1,326千円
目的	絹のふるさと京丹後推進プランの策定やシルクのまちづくり市区町村協議会の活動に参画し、シルク産業の振興を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>絹のふるさと京丹後推進会議を開催し、「絹のふるさと京丹後推進プラン」を策定した。また、「シルクのまちづくり市区町村協議会」に参加し、シルク産業の振興とシルク文化を活用した魅力ある地域づくりを目的に活動を行った。</p> <p>○絹のふるさと京丹後推進会議の運営 178千円 【構成】 織物・繊維、養蚕業に携わる団体や関係者12人 府関係機関からオブザーバー3人 会議開催 3回 「絹のふるさと京丹後推進プラン」7月中間とりまとめ、意見募集 3月プラン策定</p> <p>○シルクのまちづくり市区町村協議会 272千円 総会 (長野県岡谷市) 幹事会 2回 (東京都内) 【協議会の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体会員数 26市区町 (平成28年3月31日現在) 顧問 11人 (ファッションジャーナリスト、テキスタイルデザイナー等) 協賛者等 26団体 (蚕糸団体、産地織物組合、絹業関連団体ほか) 					
主な財源						
評価・課題等	<p>○絹のふるさと京丹後推進会議では「絹のふるさと京丹後推進プラン」を策定することができた。今後はプランに基づき、各方面での取組を推進する必要がある。</p> <p>○長野県岡谷市で開催されたシルクのまちづくり市区町村協議会に出席するとともに岡谷蚕糸博物館「きぬのひろば」を視察することにより、会員同士で情報共有を図るとともに、本市の施策検討に役立てることができた。</p>					
事業所管課	商工観光部/商工振興課					

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業						
細事業名	05 新シルク産業創造事業			決算書 P.252						
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築								
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)						
224,453千円		416,000千円		191,547千円						
執行率		53.9%		(参考)当初予算額 0千円						
目的	地域再生計画に基づき、新シルク産業創造に向けた取組を行うことにより、地域産業の基盤強化や成長を促し雇用の創出・拡大を目指す。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>旧溝谷小学校において、京都工芸繊維大学と連携して無菌周年養蚕に取り組む中、蚕飼育棟の施設及び設備の整備、備品類の購入等を行った。また、信州大学繊維学部と連携して高機能性シルクの研究開発を行うこととし、受託研究を依頼した。</p> <p>(1) 大学との連携事業 13,000千円 ○高機能性シルク研究開発委託経費 13,000千円</p> <p>(2) 旧溝谷小学校施設整備 (第1期：蚕飼育棟) 208,096千円 ○工事請負費 (建築・電気・機械設備) 155,776千円 ○工事監理業務委託料 3,510千円 ○人工飼料調整装置1基の製造請負 27,972千円 ○各種養蚕関連備品の購入 20,838千円 大型クリーンベンチ2台、低温インキュベーター4台、オートクレーブ10台、電子天秤2台、飼育用ケース (小50、大50)、飼育用ケース用蓋 (大5)、乾熱滅菌器2台ほか</p> <p>(3) 旧溝谷小学校施設運営 3,357千円 ○公用車購入 (軽トラ1台、ミニバン1台) 3,149千円 ○公用車登録関連手数料 73千円 ○公用車損害保険料 90千円 ○公用車重量税 29千円 ○スズメバチ駆除委託 16千円</p> <p>■平成28年度への繰越事業 191,329千円</p> <table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>224,671千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table> <p>・改修工事、備品購入等 平成29年3月完了予定</p>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	224,671千円		実質的な執行率	99.9%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	224,671千円								
	実質的な執行率	99.9%								
主な財源	府補	未来づくり交付金 (新シルク産業創造事業研究開発委託料)	1,500千円							
	市債	新シルク産業創造拠点施設整備事業債 (合併特例債)	186,000千円							
評価・課題等	<p>○無菌養蚕事業の実施に向けた施設・設備及び備品類を整備し、ハード面における体制を整えることができた。</p> <p>○通常のシルクよりも引張強度を高めた高機能性シルクを作成することができた。</p>									
事業所管課	商工観光部/商工振興課									

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業
細事業名	05 新シルク産業創造事業 (繰越)			決算書 P.254
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
34,350千円		51,782千円		17,432千円
執行率		66.3%		(参考)当初予算額 51,782千円
目的	地域再生計画に基づき、新シルク産業創造に向けた取組を行うことにより、地域産業の基盤強化や成長を促し雇用の創出・拡大を目指す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>(1) 大学との連携事業 5,350千円 無菌周年養蚕・人工飼料製造技術者養成を京都工芸繊維大学へ委託し、2人の技術者育成が図られたほか、信州大学繊維学部と連携し高機能性シルクの研究開発を推進。</p> <p>○無菌周年養蚕の人材育成委託 4,150千円 ○旧溝谷小学校施設整備にかかる設計監理業務 200千円 ○高機能性シルク研究開発用遺伝子組換え蚕の飼育委託 1,000千円</p> <p>(2) 新シルク産業創造研究会コーディネーターの設置 80千円 新シルク産業の創出のため、産学官の立場からコーディネーター (3人) を設置。 ○コーディネーター謝金 (4千円×1人×3回) 12千円 ○コーディネーター費用弁償 (2人×3回) 68千円</p> <p>(3) 旧溝谷小学校施設整備 19,023千円 ○人工飼料養蚕にかかる仮飼育室修繕費 51千円 ○研究用備品運搬費、工区内大型備品移設・廃棄物処理 720千円 ○施設実施設計委託料 18,252千円</p> <p>(4) 旧溝谷小学校施設運営 6,517千円 ○養蚕作業員賃金等 (2人) 468千円 ○養蚕用資材・人工飼料購入費 6,049千円</p> <p>(5) 市民への普及啓発 945千円 蚕飼育体験キットを保育所 (27セット)、小学校 (242セット) に配付し、養蚕体験を通じて蚕、絹の理解を深め、絹のふるさと京丹後への愛着を育くんだ。</p> <p>(6) 新シルク産業創造事業補助金 1,266千円 蚕糸業人材育成、養蚕業、桑栽培業の創業・規模拡大を支援。(1団体)</p> <p>(7) 職員旅費 (事務打ち合わせ等) 1,169千円</p>			
主な財源	国補	地域再生戦略交付金	3,691千円	
	市債	新シルク産業創造拠点施設整備事業債 (合併特例債)	17,500千円	
評価・課題等	<p>○新シルク産業創造研究会の具体的に事業化を目指す会員のため、その実現に向けてコーディネーターが支援する分科会を立ち上げた。</p> <p>○4人の方が補助金を活用し、養蚕業・桑栽培業を創業、及び蚕糸業の技術を習得した。また、啓発事業では、242人の小学生が夏休みの課題として養蚕体験に挑戦し研究作品を作成するなどシルクに対する理解を深めることができた。</p>			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	06機械金属業振興事業	
細事業名	01 機械金属業振興事業			決算書	P.256
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
773千円	863千円	90千円	89.5%	1,068千円	
目的	市内の機械金属業者が行う新たな展開に向けた基盤構築や技術力向上、市場との接点活動を支援し、機械金属業の事業分野の拡大と経営基盤強化を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	丹後機械工業協同組合の実施する都市部での展示商談会に共同出展するとともに、マッチングコーディネーターを活用した新分野企業等とのビジネスマッチング事業におけるマッチング会議へ出席し、支援活動を行った。				
	○展示商談会への出展経費	750千円			
	第18回関西・機械要素技術展 会期：平成27年10月7日(水)～9日(金) 会場：インテックス大阪(大阪市住之江区) 内訳：出展料672千円、職員旅費56千円、有料道路通行料22千円 ※丹後機械工業協同組合との共同出展				
	○マッチング会議出席旅費	23千円			
	大阪市内 2回(平成27年4月8日、6月11日)				
主な財源					
評価・課題等	○展示商談会・大阪市内業者とのマッチング会議を支援し、機械金属業の事業分野の拡大に寄与した。 ○引き続き新たな顧客の開拓や成長産業分野への進出を支援することにより、事業者の主体的なビジネス開拓や、新分野企業とのビジネスマッチングを促進していく必要がある。				
事業所管課	商工観光部/商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進J-ネット事業	
細事業名	01 起業アイデアコンペ開催事業			決算書	P.256
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
956千円	982千円	26千円	97.3%	1,203千円	
目的	地域資源を活用した大学生発案の起業アイデアをもとに、京丹後発の新たなビジネスを創造し、商工業の活性化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	京都工芸繊維大学のほか、京都府立大学、京都府立医科大学、京都ノートルダム女子大学、京都産業大学の学生を対象に、京丹後市の地域資源(自然、文化、歴史、生産物等)を理解してもらうため、9月にオリエンテーション(1泊2日)を実施。その後、委託先である京都工芸繊維大学においてその地域資源を活用した斬新な起業(事業)アイデアを募集し、一次審査を通過した8件によるコンペティションを京丹後キャンパスで行った。				
	○起業アイデアコンペ開催経費	956千円			
	・コンペ入賞賞金 340千円 優秀賞150千円×1、優良賞100千円×1、佳作30千円×2、入選10千円×3 ※民間団体(錦織米市翁顕彰会)より、別途最優秀賞200千円の協賛あり				
	・参加賞(図書券10千円分×8件) 80千円				
	・コンペ企画運営委託料(委託先：京都工芸繊維大学) 429千円				
	・バス運転委託料 51千円				
	・バス燃料代 18千円				
	・有料道路通行料 29千円				
	・職員旅費 9千円				
	<平成27年度起業アイデアコンペティション結果> 最優秀賞 京丹後ことぶき米 優秀賞 京丹後の技術と素材で生まれたポータブル・ワイヤレス・スピーカー 製品名：京鳴-Kyoumei-				
主な財源					
評価・課題等	○京丹後市の地域資源を活用した斬新な起業(事業)アイデアについて、19件の応募があり、一次審査を通過した8件のうち2件が事業化に向けて市内事業者が開発を検討することとなった。 ○今年度は2件の事業化に向けた検討があったものの、学生のアイデアや作品がなかなか事業化に結びつかないことから、事業の方向性について検討する必要がある。				
事業所管課	商工観光部/商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進コーディネート事業
細事業名	02 産学連携推進事業			決算書 P.256
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
21千円	143千円	122千円	14.6%	143千円
目的	大学と市民や市内事業者を結びつけるコーディネートを行うとともに、京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス）の維持管理等を行い、市内産業の振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○職員出張経費（京都工芸繊維大学との連携事業に関する協議） 8千円</p> <p>○配水管漏水修理（京都工芸繊維大学地域連携センター） 13千円</p> <p>※京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス）の利用状況 利用回数：49回 延べ利用人数：1,042人</p>			
主な財源				
評価・課題等	京都工芸繊維大学地域連携センターを拠点とした各種産学連携事業を進めることにより、相互の人的、物的、知的資源を交流・活用し、人材育成や企業の活性化など市内産業の振興に資することができた。			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進コーディネート事業
細事業名	03 産学連携研究等促進事業			決算書 P.256
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
500千円	500千円	0千円	100.0%	1,000千円
目的	大学等と共同研究等に取り組む市内中小企業者等に対し支援を行うことで、産学連携を促進し、市内産業の高度化や新産業の創出等を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市内中小企業者が大学等研究機関と共同研究を行うにあたり、研究機関に支払った研究経費に対し補助金を交付し、市内中小企業者等の新商品の開発や新技術の導入等による製品・サービスの高付加価値化を支援した。</p> <p>○産学連携研究等促進事業費補助金 500千円 交付件数：1件 補助金額：500千円 補助率：1/2以内（上限額1,000千円） 研究テーマ：『コンクリート打込み時に美観及び耐久性を向上させるための簡易表面締固め装置の開発』</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○大学の持つ高度な学術資源（シーズ）の活用による、市内事業者の技術課題の解決を促進した。</p> <p>○産業の高度化や新産業の創出等を実現するため、当制度の認知度を高め、市内事業者の大学や研究機関との共同研究等による課題解決をより一層促進していく必要がある。</p>			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	08工業用地造成事業特別会計繰出金
細事業名	01 工業用地造成事業特別会計繰出金			決算書 P.256
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
188,770千円	188,770千円	0千円	100.0%	189,300千円

目的 森本工業団地造成事業に係る地方債償還金について、一般会計から工業用地造成事業特別会計に繰り出す。

主要な事務・事業及び成果の概要

森本工業団地造成事業に係る地方債償還金について、一般会計から工業用地造成事業特別会計に繰り出した。

○工業用地造成事業特別会計繰出金 188,770千円
公債費元利償還分 188,770千円

平成27年度工業用地造成事業特別会計の決算概要
※不動産貸付収入(工場用地貸付料/区画3・4) 530千円

執行区分	執行額	執行額計
工業団地工場用地譲受人等審査選考委員会委員報酬等	21千円	189,385千円
需用費	49千円	
公債費	元金	180,928千円
	利子	8,387千円

主な財源

評価・課題等

事業所管課 商工観光部/商工振興課

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	09人材育成事業
細事業名	01 人材育成事業			決算書 P.256
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
9,801千円	9,802千円	1千円	99.9%	10,479千円

目的 「丹後・知恵のものづくりパーク」における事業の円滑な実施と適切な施設運営を促し、市内企業の一層の成長と次世代のものづくり産業の総合的な振興を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

公益財団法人京都産業21(北部支援センター)が、「丹後・知恵のものづくりパーク」で行う人材育成研修及び施設管理運営に係る費用の一部を負担することにより、同パークの適正な施設管理運営を推進するとともに、事業活動を行う上で必要となる知識、技術等を地元企業の従業員等に習得させるための研修事業を実施した。
また、繊維及び機械金属分野における新分野挑戦に向けた企業セミナーを開講したほか、ポータルサイトを運営し人材育成に関する情報の一元化及び発信強化に努めた。

○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営・人材育成事業 8,922千円

- ・管理運営負担金 7,422千円
- ・人材育成研修事業負担金 1,500千円

創業をめざす方のためのセミナー 3回開催 受講者数: 6人
若手社員育成セミナー 2回開催 受講者数: 19人
女性リーダー育成セミナー 4回開催 受講者数: 延べ73人
生産管理研修 2回開催 受講者数: 延べ13人

○挑戦型企業セミナー開講事業 814千円

企業の新たな分野進出への挑戦を促すため、繊維及び機械金属分野におけるセミナーを計4回、京都工芸繊維大学へ委託して開講(受講者数延べ152人)

- ・第1講: 繊維関連 蚕業とシルクの応用
- ・第2講: 繊維・機械金属関連 有用素材の活用と地域企業連携
- ・第3講: 機械・金属関連 休眠特許の活用と福祉介護ロボット
- ・第4講: 機械・金属関連 福祉工学並びに第一次産業との融合

○京丹后市産業人材育成ポータルサイト管理運営業務 65千円
(管理運営業務委託先: 職業訓練法人丹後地域職業訓練協会)

主な財源

評価・課題等

○「丹後・知恵のものづくりパーク」における適切な施設運営と、ものづくり人材育成や地域中小企業への経営・技術の総合支援等の各種事業の円滑な実施を促進し、市内企業の競争力強化に資することができた。
○挑戦型企業セミナーの開講により、地元企業に対し業界の新たな動向や大学の持つ技術シーズ等の紹介を行い、今後の事業展開の参考としていただくことができた。

事業所管課 商工観光部/商工振興課

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	10商工業総合振興事業
細事業名	02 新経済戦略推進事業			決算書 P.256
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
450千円		539千円	89千円	83.4% 1,016千円
目的	京丹後市商工業総合振興条例及び新経済戦略に基づく施策を計画的に推進するため、制度の周知等を図るほか、これら施策の評価・検討などを行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○京丹後市新経済戦略推進会議及び企画委員会の開催 179千円			
	京丹後市商工業総合振興条例及び新経済戦略に基づく施策を計画的に推進するため、施策の評価、検討などを行う新経済戦略推進会議及び企画委員会を開催。			
		開催日	構成委員(商工関係団体の代表者、有識者)	
	推進会議	5月22日、10月27日	委員18人、オブザーバー8人	
	企画委員会	5月1日、10月19日	委員8人	
	・委員報酬 98千円 ・費用弁償 81千円			
○京丹後経済成長戦略新懇話会の開催 213千円				
日本及び京都北部地域、そして京丹後市の経済活性化について、市民及び関係者などがともに考え、行動する契機とするための懇話会を2回開催。				
	開催日	テーマ	・参加者数 延べ240人	
	2月2日	刈刈行イア 産業政策と地方活性化に向けて	・会場借上料 69千円	
	2月19日	安倍内閣の地方振興政策	・折込手数料 144千円	
○京丹後ビジネスコンシェルジュの設置 58千円				
市内事業所の成長発展と市内産業の振興を図る観点から、有用な情報収集とその積極的活用を行うため、市外からの情報提供と同提供者による市への協力を確保するため、平成28年1月13日にSynqua合同事務所(京都市)と連携・協力に関する協定を締結した。				
	・京丹後ビジネスコンシェルジュ謝金(交通費相当額)			49千円
	・協定締結式用消耗品			9千円
主な財源				
評価・課題等	○京丹後市新経済戦略推進会議等で検討を行い、施策の計画的な推進を図ったほか、京丹後経済成長戦略新懇話会の開催により、産業振興等を考える契機とすることができた。 ○京丹後ビジネスコンシェルジュを設置し、市内事業者にとって有用な情報を収集する体制の構築を図った。 ○京丹後新経済戦略の策定から3年が経過する中、市内経済の更なる発展に向けて、施策の検証及び効率的・効果的な施策展開について検討が必要である。			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	10商工業総合振興事業
細事業名	06 松本重太郎ビヅ 初大賞(仮称)創設検討事業			決算書 P.256
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
272千円		321千円	49千円	84.7% 0千円
目的	松本重太郎翁の偉大な功績を顕彰し後世に継承していくとともに、京丹後市のPR及びイメージ向上につなげるため、「松本重太郎賞」の創設について検討する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○「松本重太郎賞」創設検討事業 272千円			
	・「松本重太郎賞」創設検討会議開催経費 91千円			
	毎日新聞社大阪本社(大阪市)			
	国際文化会館(東京都港区)			
	<経費内訳>			
	「松本重太郎賞」創設検討事業委託料 (毎日新聞社との協定による市負担分)			15千円
	職員旅費等			76千円
・事例調査、関係者との協議及び打ち合わせ 181千円				
	7月~11月 延べ15回			
	<経費内訳>			
	職員旅費等			181千円
主な財源				
評価・課題等	松本重太郎翁の偉大な功績を顕彰し後世に継承していくためのひとつの方法として、賞の創設について検討したが、関係機関及び関係者と議論を重ねる中で、まずは市内での機運を盛り上げることが必要との結論に達し、賞の創設・検討については延期することとした。			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用ビヅ 創出事業
細事業名	01 地域資源活用ビヅ 創出事業			決算書 P.258
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,246千円	1,292千円	46千円	96.4%	1,292千円
目的	慶応義塾大学と市内地域等との連携により、コミュニティビジネスの検討や活動を実施することにより地域活性化を図り、あわせて首都圏へ本市の魅力発信を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成25年度から3年間の事業実施期間として、峰山南地区における「域学連携」の活動を慶応義塾大学へ委託し、地域住民と学生のワークショップなどを通じて地域活性化に向けた取り組みを行った。 最終年となる27年度は防災をテーマにワークショップを開催し、コミュニティビジネスの創出を検討するなど、地域の活性化や支えあう意識を育んだ。</p> <p>○コミュニティビジネスの検討及び実践活動経費 1,246千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（大学との協議） 46千円 ・委託料（大学への地域活性化支援業務委託） 1,200千円 <p>（活動内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度活動計画の調整（H27.4月～6月） ・新たに加わった学生のためのフィールドワーク実施（H27.8.1～2、学生6人） ・防災ワークショップ打ち合わせ（H27.12.19～20、学生3人） 峰山高校地学部の子生3人や地元消防団と協議 ・防災ワークショップ実施（H28.2.6～7、参加者15人） ダンボールトイレ、新聞紙スリッパ、サラダ油ランプなど作成 			
主な財源				
評価・課題等	域学連携により、地域活性化を図る組織を設立することができた。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用ビヅ 創出事業
細事業名	02 京丹後型ワークスタイル創出事業			決算書 P.258
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
539千円	540千円	1千円	99.8%	0千円
目的	テレワークにより本市にて業務を行う企業の支援を行うことで、企業の進出及び操業安定性を確保するとともに京丹後市への立地へとつなげる。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>総務省「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」の採択を受け、テレワークにより業務を行う企業5社が実証的に本市に進出した。当該企業の実証期間終了後の進出及び操業安定性を確保するとともに京丹後市への立地へとつなげていくため、補助金を交付し支援を行った。</p> <p>○テレワーク事業者支援事業補助金 539千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試作開発品検証事業費支援 500千円 補助対象：進出企業が市内で行う試作開発品の検証事業 補助率：事業費の50%以内（上限：1社につき500千円） 交付実績：無人航空機（ドローン）の飛行検証 1社 ・住居賃借料支援 39千円 補助対象：社員の住居に供するため進出企業が賃借する建物の賃借料（敷金・権利金等を除く）又は市内宿泊施設の室料 補助率：事業費の50%以内（上限：1人につき35千円） 交付実績：2社 			
主な財源				
評価・課題等	○丹後地域地場産業振興センター内にサテライトオフィスを開設し、4事業者11人によるテレワークによる実証事業を実施した結果、1件の創業があった。 ○サテライトオフィスへの事業者の誘致において、都市部の企業が地方にオフィスを分散化させるといった考えのみでは、地方で実施するインセンティブが働きづらいという現状があり、今後の取組を検討する必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用ビジョン 創出事業					
細事業名	03 地域経済循環創造事業（繰越）			決算書 P.258					
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額					
35,000千円	35,000千円	0千円	100.0%	35,000千円					
目的	市内の事業者が行う地域活性化に資する取組等に対して支援を実施し、地域経済の循環及び活性化を図る。								
主要な事務・事業及び成果の概要	○地域経済循環創造事業補助金 35,000千円 市内の事業者が地域金融機関や大学機関などと連携して実施する取組について、国が実施する交付金事業を活用して支援し、地域経済の循環及び活性化を図った。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地元の酒米を利用した、こだわりの日本酒製造事業拡大と熟成酒製造事業</td> <td>68,094千円</td> <td>35,000千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業内容	事業費	補助金額	地元の酒米を利用した、こだわりの日本酒製造事業拡大と熟成酒製造事業	68,094千円
事業内容	事業費	補助金額							
地元の酒米を利用した、こだわりの日本酒製造事業拡大と熟成酒製造事業	68,094千円	35,000千円							
主な財源	国補 地域経済循環創造事業交付金 (10/10)			35,000千円					
評価・課題等	○市内の事業者が地域金融機関や大学機関などと連携して実施する地域経済の循環を図る取組について、その初期投資に対して支援し、市内商工業の振興及び地域経済の活性化を図った。 ○事業終了後においても関係機関と連携し、取組が円滑に進められるような相談体制等フォローアップが必要となる。								
事業所管課	商工観光部/商工振興課								

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	50商工振興一般経費
細事業名	01 商工振興一般経費			決算書 P.258
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,659千円	2,812千円	153千円	94.5%	3,610千円
目的	地域産業の活性化を図るために活動している団体に対し、その活動を支援するとともに、各種事業の実施により商工振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	地域産業の活性化を図るため、産業団体や産業イベントに対する支援をするとともに、広告掲載やPR用映像コンテンツを作成し各種イベントで放映するなど、商工業の振興につなげた。			
	○おおみや生き生きフェスタ産業文化祭開催費補助金 599千円 「薫る文化・伸びゆく産業」をコンセプトとして実施する「おおみや生き生きフェスタ2015」（産業文化祭）への支援を行った。 開催日：11月1日（日） 来場者数：約5,000人 ○丹後地域産業活性化推進会議負担金 1,100千円 京都丹後鉄道利用促進事業、地元小売商店振興事業、人材育成事業、農・商工・観光連携事業等の活動への支援を行った。 ○PR用映像コンテンツ制作業務委託料 303千円 各種イベントでの京丹後市のPR活動を行う上で集客力向上を図るため、市のPR用映像コンテンツを作成した。 ○OGS世代研究会広報紙「暮らしの環 Vol.4」企画製作費 162千円 ○出張旅費（普通旅費、有料道路通行料、駐車場使用料等） 438千円 ○事務費（事務用品費、新聞購読料等） 57千円			
主な財源				
評価・課題等	産業イベントに対する支援により、地域産業の活性化に寄与した。			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	01峰山織物センター管理運営事業
細事業名	01 峰山織物センター管理運営事業			決算書 P.258
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,743千円	3,808千円	65千円	98.2%	3,489千円

目的	峰山織物センターを管理運営することで、市民の福祉の増進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	市民に安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な管理運営を行った。				
	○延べ利用人数	10,849人			
	○管理運営費	3,743千円			
	・宿日直代行業務委託料	1,596千円			
・電気代、上下水道代	1,072千円				
・機械警備委託料等	85千円				
・土地借上料(施設分186千円、駐車場分272千円)	458千円				
・消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕料、備品購入費等	466千円				
・電話代	45千円				
・公有建物共済分担金、テレビ受信料等	21千円				
○目的別利用件数	(単位：件)				
会議	研修	教室	サークル活動	ｽｰｯ・ｸﾞｲｰｼﾞｮﾝ	合計
122	72	92	351	282	919
○部屋別利用件数					
大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計	
498	93	54	274	919	
主な財源	使用料	公有財産使用料	111千円		
	使用料	峰山織物センター使用料	135千円		
評価・課題等	職業訓練、教室・サークル活動を行う施設として多くの利用があり、各種活動の推進に寄与した。				
事業所管課	商工観光部/商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	02商工施設指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.260
総合計画	計画項目 1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,366千円	5,369千円	3千円	99.9%	5,289千円

目的	市内商工施設の適正な管理運営を行い、施設利用者の利便性の向上と、あわせて商工業の振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	大宮織物ホール、丹後商業活性化センター等の施設について、京丹後市商工会を指定管理者として管理運営を委託し、適正な管理運営を行った。			
	○指定管理委託料	4,519千円		
	・大宮織物ホール	4,064千円		
	施設利用者数：228回、6,433人(太極拳、よさこい、ダンス等)			
	・丹後商業活性化センター	455千円		
	施設利用団体：1階＝間人連合区他			
	2階＝京丹後市商工会丹後支所			
	○火災保険料	85千円		
	・大宮織物ホール、丹後商業活性化センター、商工活性センター	弥栄機業センター		
	○土地借上料	334千円		
・大宮織物ホール土地借上料(2,470㎡)				
○解体処分作業委託料	50千円			
・丹後商業活性化センター街路灯の照明器具撤去作業				
○工事請負費	378千円			
・丹後商業活性化センターのエアコン取替工事				
主な財源	使用料	公有財産使用料	2,118千円	
	諸収入	大宮織物ホール電気料	278千円	
評価・課題等	指定管理者により市内商工施設の適正な管理運営を行うことで、施設利用者の利便性の向上につながるとともに、商工業の振興に寄与した。			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	50商工施設一般経費	
細事業名	01 商工施設一般経費			決算書	P.260
総合計画	計画項目	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
1,336千円	1,429千円	93千円	93.4%	1,429千円	
目的	商工業の振興に資する施設の維持管理を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○商工施設維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街駐車場外灯電気代 (旧小谷医院跡地) 6千円 ・あしぎぬ苑水道料 13千円 ・あしぎぬ苑管理委託料 (委託先: 鳥取老人会) 52千円 ・弥栄機業センター電気代等負担金 4千円 <p>○溝谷体育館維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 4千円 ・光熱水費 669千円 ・火災保険料 22千円 ・施設維持管理委託料 (消防設備、自家用電気工作物保安管理、グラウンド等維持管理) 566千円 				
主な財源	諸収入	弥栄機業センター光熱水費負担金	4千円		
評価・課題等	商工業、織物業の振興を目的とした施設の適正な管理運営を行うことができた。				
事業所管課	商工観光部/商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	01観光協会等支援事業	
細事業名	01 観光協会等支援事業			決算書	P.260
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
36,300千円	39,880千円	3,580千円	91.0%	37,280千円	
目的	京丹后市観光協会の活動を支援し、京丹后市の観光について総合的な振興を図り、地域一体となった観光を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「第2次京丹后市観光振興計画」、「海の京都構想」等を念頭に置き、地域特性と地域観光資源を活かした顧客誘致戦略プロジェクトをはじめ、広報宣伝活動、誘客事業等の強化を図った。</p> <p>また、外国人観光案内所の認定を受けた観光情報センターにおけるワンストップ窓口としての情報発信を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光協会活動補助金 33,700千円 <ul style="list-style-type: none"> 【事業費 25,977千円】 <ul style="list-style-type: none"> 広告宣伝事業 (京阪神・中京圏誘客宣伝、ニーズリサーチ等) 1,172千円 誘客イベント事業 (顧客誘致戦略プロジェクト推進事業等) 1,233千円 支部活動費 5,000千円 ホームページリニューアル事業 810千円 観光情報センター事業 14,863千円 <ul style="list-style-type: none"> (人件費: 正職員1人、臨時職員5人及び管理費) 商品造成・営業 (人件費: 臨時職員1人及び事業費) 2,799千円 行事費 100千円 【人件費 6,649千円】 <ul style="list-style-type: none"> 観光協会職員給与、法定福利費等 (正職員1人、臨時職員3人) 6,649千円 【管理費 1,074千円】 <ul style="list-style-type: none"> 旅費、通信費、事務費等 1,074千円 ○広域誘客活動事業委託料 2,600千円 <ul style="list-style-type: none"> 総合パンフレット増刷 (90,000部) 1,107千円 総合パンフレットダイジェスト版作成 (200,000部) 1,220千円 事務費 (発送費等) 273千円 				
主な財源	府補	未来づくり交付金 (観光協会補助金)	12,000千円		
評価・課題等	<p>○観光パンフレット等の製作・活用、関西圏及び中京圏等での広報宣伝事業、地域の資源を活かした誘客事業、観光情報センターでの観光案内、SNSを活用した観光情報発信等の取組を支援することにより、観光入込客数の増加及び観光振興に寄与した。</p> <p>○今後は、府北部7市町の観光協会等が参画する「海の京都DMO」の設立に伴い、地域本部となる市観光協会の役割分担、事業の方向性、また支援の内容等、検討する必要がある。</p>				
事業所管課	商工観光部/観光振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業
細事業名	01 観光宣伝活動事業			決算書 P.260
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
9,468千円	9,594千円	126千円	98.6%	4,845千円
目的	各種広報媒体の活用、イベントでのキャンペーン、広域観光団体との連携等によるPR活動により、本市の豊富な観光資源を発信し、観光客誘致の促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○観光宣伝活動等事務事業経費(旅費、有料道路通行料等) 627千円 ※主なPR活動等実績 NHK大河ドラマ誘致協議会啓発イベント/北近畿観光連盟キャラバン 歴史街道推進協議会イベント/Sea級グルメ全国大会in鳥羽 ○啓発物品購入等 180千円 <ul style="list-style-type: none"> ・コッペちゃんせんべい 4千円 ・観光キャンペーン景品代 18千円 ・その他啓発品購入及び事務経費 158千円 ○誘客イベント等情報発信及び広告掲載等経費 6,505千円 <ul style="list-style-type: none"> ・FM京都広告(イベント告知:4回/海の京都博に合わせた特別番組:7月中旬~12月末) 1,296千円 ・地下鉄中吊り広告(京都市4回、名古屋市3回) 3,644千円 ・高速道路サービスエリアへの観光パンフレット配架 1,500千円 (西紀、西宮名塩、吹田、大津、養老、賤ヶ岳、御在所 計7か所) ・取材対応に関する各種経費等 65千円 ○広域観光団体負担金 2,156千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府観光連盟 390千円 ・北近畿広域観光連盟 1,160千円 ・歴史街道推進協議会 100千円 ・NHK大河ドラマ誘致推進協議会 400千円 ・因幡・但馬・丹後観光協議会 106千円 			
主な財源				
評価・課題等	○高速道路サービスエリアへの観光パンフレット配架や地下鉄中吊り広告の活用など、多様なメディアを活用した観光情報の発信及び広域観光団体と連携したPR活動等を行い、観光入込客数の増加に努めた。 ○京丹後大宮ICの供用開始に伴う誘客促進のため、広域観光団体による取組も含め、より効果的な情報発信等を引き続き実施する必要がある。			
事業所管課	商工観光部/観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業
細事業名	02 観光サイン整備管理事業			決算書 P.260
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
802千円	863千円	61千円	92.9%	2,044千円
目的	市のイメージ及び自然景観に配慮した統一デザインによる観光サインを整備し、観光客の利便性の向上及び市のイメージアップを図り、誘客を促進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>既存観光サイン(案内看板等)の適切な維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光サイン設置用地借上料 482千円 <ul style="list-style-type: none"> ・43か所(京丹後市内:39か所、与謝野町内:1か所、福知山市内:2か所、宮津市内:1か所) ○観光サインの撤去工事 267千円 <ul style="list-style-type: none"> ・丹後町間人地内2基、丹後町袖志地内1基 ○電光掲示板解体処分作業委託料 52千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大宮町谷内地内1基 ○観光サイン電気料 1千円 <ul style="list-style-type: none"> ・歓迎サイン2基(久美浜町河梨地内、与謝野町上山田地内) 			
主な財源				
評価・課題等	観光サインの適切な維持管理を進め、観光客の利便性のより一層の向上と観光地としてのイメージアップ及びPRを図った。			
事業所管課	商工観光部/観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業
細事業名	03 イパ'ウト' 推進事業			決算書 P.260
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
200千円	212千円	12千円	94.3%	0千円
目的	外国からの旅行客誘致を促進し、四季に関係なく年間を通じた観光入込客の増加を目指す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成24年度より毎年交流を続けている韓国浦項市を京都府・舞鶴市とともに訪問し、観光関係者との交流及び観光PRを行った。 また、舞鶴港において開かれたフェリートライアル入港歓迎式に参加するなどし、京丹後市のPRを行った。</p> <p>○第12回浦項国際花火祭り参加 (平成27年7月30日～8月2日 於：韓国慶尚北道浦項市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員旅費 (4泊5日、1人) 132千円 ・消耗品費 6千円 <p>○浦項市青年交流訪問団受け入れ (平成28年1月16日～17日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バス運転委託料、有料道路通行料等 57千円 <p>○舞鶴港日韓露国際フェリートライアル入港歓迎式等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員旅費 5千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○昨年度に引き続き、浦項市との交流及び観光PRを行ったことにより、青年交流訪問団の受け入れが実現するなど教育旅行誘致の足がかりを築くことができた。 ○外国への京丹後市の魅力の発信方法を検討していくとともに、外国人観光客の受入環境整備を一層推進していく必要がある。</p>			
事業所管課	商工観光部/観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業
細事業名	05 松本重太郎100年7'0'イ'外支援事業補助金			決算書 P.260
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,728千円	1,728千円	0千円	100.0%	1,728千円
目的	本市出身で明治期日本経済の立役者である松本重太郎翁を顕彰する地元地域の活動を支援し、地域のにぎわいづくり及び観光誘客を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>松本重太郎翁の没後100年・生誕170年に際し、松本重太郎ゆかりの地として生誕碑、案内看板などを整備して観光誘客、地元地域の活力を作り出す地元有志団体を支援するため補助金を交付した。</p> <p>○ 松本重太郎100年プロジェクト支援事業補助金 1,728千円 【松本重太郎100年プロジェクト実行委員会】 <事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕彰碑(看板)、生家跡地の石碑、誘導看板の設置 ・墓地前の周辺整備 <p>※補助対象事業費 2,227千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○ 松本重太郎翁の偉業を広く周知する顕彰事業として、生誕の地に顕彰碑等を整備する地元団体の活動を支援することで、地元の活性化や観光スポットづくりに寄与した。 ○ 顕彰碑等の整備だけでなく、地元有志を中心とした取組により地域の活性化を継続していく必要がある。</p>			
事業所管課	市民部/丹後市民局			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	03水難対策事業
細事業名	01 水難対策事業			決算書 P.262
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
18,445千円		18,663千円	218千円	98.8% 20,400千円
目的	救急時の連絡体制の整備や救命機器を備え、海水浴場の安全性を高める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>本市観光の柱の一つである夏季海水浴による誘客を促進するため、全海水浴場（15海水浴場、17連絡所）へ連絡員（延べ78人）を配置するとともに、AEDを配備するなど、安全・安心な海水浴場の開設を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 海難救助船運航謝金 5千円 ○旅費 普通旅費（海難防止推進連絡会議など） 4千円 ○需用費 連絡所消耗品、医薬品 927千円 水難事故防止啓発ポスター 250枚 30千円 ○役務費 連絡所仮設電話料金等 237千円 ○委託料 海水浴場放送設備設置委託料 1,472千円 連絡員業務委託料 12,980千円 <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）京丹後市観光協会（丹後町・久美浜町域） 8,618千円 ・櫛技研サービス（八丁浜海水浴場） 971千円 ・小浜観光協会（小浜海水浴場） 1,097千円 ・掛津区（琴引浜掛津海水浴場） 650千円 ・遊区（琴引浜遊海水浴場） 549千円 ・浜詰区（浜詰海水浴場） 1,095千円 水難啓発救助委託料（マリンレスキュー網野） 80千円 ○使用料及び賃借料 連絡所用コンテナハウス借上料（6棟） 326千円 ○備品購入費 自動体外式除細動器（AED）（12台） 1,485千円 海水浴場水難監視業務用放送機器（スピーカー・アンプ等） 816千円 トランシーバー（4台） 63千円 双眼鏡（1台） 20千円 			
主な財源	府補	未来づくり交付金（水難対策事業）	8,762千円	
評価・課題等	平成26年5月に施行された「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」を遵守した連絡員の配置、救護備品の整備等、安全・安心な海水浴場の開設を支援し、観光振興に資することができた。			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	02 観光振興計画推進事業			決算書 P.262
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
295千円		502千円	207千円	58.7% 599千円
目的	京丹後市観光立市推進会議の開催及び観光振興や地域の活性化について専門的な助言を得るため政策企画委員を配置し、第2次京丹後市観光振興計画の推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○京丹後市観光立市推進会議 118千円 <ul style="list-style-type: none"> ・委員報酬 66千円 全体会議（1回） 14千円×1人 4千円×13人 ・費用弁償 52千円 ○政策企画委員の配置 177千円 <ul style="list-style-type: none"> ・政策企画委員報酬 142千円 4月～3月 1人 100千円 11月～3月 1人 42千円 ・費用弁償 35千円 			
主な財源				
評価・課題等	○観光立市推進会議では、今後の観光の動向や地域の課題などについて意見や提言が出され、観光立市の実現に向けて情報共有が図られるとともに、今後の施策検討の参考にすることができた。 ○政策企画委員には、観光立市推進会議での助言を受けることができた。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	04 教育旅行等誘致促進事業			決算書 P.262
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
236千円	326千円	90千円	72.3%	484千円
目的	市内体育施設及び自然環境や伝統産業等の地域資源を活用し、学生合宿及び教育旅行の誘致を促進し、入込客及び宿泊客の増加を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京阪神地域の大学からのスポーツ合宿の誘致をはじめ、教育旅行の誘致を行うため、関係団体や旅行会社を訪問したほか、教育旅行誘致に関する広域連携会議へ参加するなど、PR活動を実施した。</p> <p>また、教育旅行の誘致推進を目的に、市内の伝統産業や農村文化等の地域資源を活用したモデルツアーを実施した。</p> <p>○合宿・教育旅行誘致活動 49千円 ・職員旅費、有料道路通行料等 ※訪問先：学校・旅行会社・関西学生陸上競技連盟等</p> <p>○教育旅行モデルツアー 187千円 日時：平成27年8月3日～5日(2泊3日) 参加：京都市内中学校(生徒33人、教員5人) 内容：丹後ちりめん工場見学・体験、農業体験、田舎体験、民泊体験など</p> <p>・自動車借上料(市内周遊経費) 177千円 ・費用弁償(京阪神の旅行会社を招待) 10千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○京阪神の中学校、学生団体、旅行会社への訪問及びPRを実施し、教育旅行の誘致を促進した。</p> <p>○市内の伝統産業や農村文化等の地域資源を活用した教育旅行のモデルツアーを実施し、体験プログラムの課題等について検証を行うほか、旅行会社へのPRを実施した。</p> <p>○引き続き教育旅行誘致に向け、受入体制や体験プログラムを更に整備する必要がある。</p>			
事業所管課	商工観光部/観光振興課、スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	05 フィルムコミッション推進事業			決算書 P.262
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
379千円	442千円	63千円	85.7%	588千円
目的	映画、CM等の映像化による本市の全国的な知名度向上やイメージアップによる観光客等交流人口の増加を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○誘致活動等経費(旅費、有料道路通行料等) 126千円 ※主なPR活動実績 ・映画制作会社並びにテレビ局訪問(2社) ・撮影支援関係団体等訪問(4社) ・京都映画市PRブース出展、ふるさと甲子園出場 ・第3回関西ATP授賞会参加、ロケスポット情報交換会参加 ※H27誘致等実績 問合せ38件、映像化22件(映画・ドラマ、紀行番組、ミュージックビデオ等)</p> <p>○京丹後ロケ地見学会 153千円 日時：平成28年3月3日(木) 場所：京丹後市内(平、立岩、琴引浜、葛野浜、民家苑) 参加：18人(映像製作関係者等)</p> <p>・自動車借上料 126千円 ・旅費、有料道路通行料等 27千円</p> <p>○ジャパン・フィルムコミッション負担金 100千円 ・加入団体：正会員105団体(平成28年5月1日現在)</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○京阪神のテレビ局や関係団体等への訪問並びに映像製作関係者が集まるATP授賞会などのイベントに参加することで、撮影地の誘致につながった。</p> <p>○京丹後ロケ地見学会の開催により、映像製作の関係者等へロケスポット等を効果的にPRすることができた。</p>			
事業所管課	商工観光部/観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業						
細事業名	07 観光・休憩所整備事業			決算書 P.262						
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進								
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)						
	3,651千円	25,054千円	21,403千円	14.5%						
執行率	(参考) 当初予算額			0千円						
目的	本市への高速道路延伸に併せ、「観光・休憩所」整備について検討し、観光客へのおもてなし及び地域の活性化を推進する。									
主要な業務・事業及び成果の概要	<p>山陰近畿自動車道京丹後大宮IC開設を控え、増加が見込まれる道路利用の観光客等に対し、快適かつ利便な環境を提供するとともに、観光情報発信機能及び物産販売機能等を備えた「観光・休憩所」の整備について検討するため、市民の意見を聴取するためのワークショップを開催するとともに、関係機関との調整、調査等を行ったもの。</p> <p>○ワークショップ等の開催（費用弁償等） 98千円 観光・休憩所の整備内容について、ワークショップを開催しコンセプト案を策定した。 ・ワークショップ 開催回数：4回 委員：10人 アドバイザー：1人</p> <p>○調査設計委託料 3,481千円 観光・休憩所整備候補地の進入経路の安全性を確認するため、経路上にある橋梁の耐荷重調査を実施した。</p> <p>○先進地視察（旅費、有料道路通行料等） 56千円 愛知県内及び三重県内の道の駅など6施設</p> <p>○関係機関との調整（旅費、有料道路通行料等） 16千円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>3,683千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.1%</td> </tr> </table> <p>■平成28年度への繰越事業 観光・休憩所整備測量設計等 21,371千円 ※平成28年10月完了予定</p>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,683千円		実質的な予算執行率	99.1%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,683千円								
	実質的な予算執行率	99.1%								
主な財源	市債 観光施設整備事業債（合併特例債）									
評価・課題等	「観光・休憩所」整備について、広く市内の関係団体等から意見を聴取・検討するため、ワークショップを開催し、市民の声を反映したコンセプト（案）を検討することができた。									
事業所管課	商工観光部／観光振興課									

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	05観光の魅力づくり推進事業																																									
細事業名	01 観光の魅力づくり推進事業			決算書 P.264																																									
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進																																											
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)																																									
	35,459千円	35,523千円	64千円	99.8%																																									
執行率	(参考) 当初予算額			30,111千円																																									
目的	観光の魅力づくりに寄与する事業に対して補助金を交付し、本市の美しい自然や景観等豊かな資源を活かした個性ある観光地づくりを推進する。																																												
主要な業務・事業及び成果の概要	<p>山陰海岸ジオパークの恵みである豊富な観光資源を活用した魅力ある観光地づくりを推進するため、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し補助金を交付した。</p> <p>○観光の魅力づくり推進事業補助金 35,412千円 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業費</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳴き砂温泉 配管移設事業</td> <td>2,463</td> <td>2,217</td> </tr> <tr> <td>八丁浜小浜温泉 泉源改修事業</td> <td>9,336</td> <td>3,402</td> </tr> <tr> <td>鳴き砂温泉 配管等改修及びポンプ整備事業</td> <td>11,263</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>丹後神野温泉 温泉源送揚ポンプ改修事業</td> <td>1,712</td> <td>1,541</td> </tr> <tr> <td>夕日ヶ浦温泉 貯湯槽取替事業</td> <td>6,609</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>八丁浜小浜温泉 水中ポンプ購入事業</td> <td>1,558</td> <td>1,402</td> </tr> <tr> <td>桜尾温泉 配管敷設事業</td> <td>28,189</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>みたと悠悠 濾過タンク改修事業</td> <td>1,836</td> <td>1,377</td> </tr> <tr> <td>花ゆうみ ボイラー・ポンプ取替事業</td> <td>6,662</td> <td>4,996</td> </tr> <tr> <td>小野小町温泉 ボイラー増設事業</td> <td>8,044</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>誘客・宣伝事業</td> <td>鳴き砂温泉 看板修繕等事業</td> <td>636</td> <td>477</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計(11件)</td> <td>78,308</td> <td>35,412</td> </tr> </tbody> </table> <p>○観光インフラ整備等基金調整会議費（委員16人） 47千円 報償金 4,000円×10人（2回開催） 40千円 費用弁償 7千円</p>				事業名	事業費	補助金	鳴き砂温泉 配管移設事業	2,463	2,217	八丁浜小浜温泉 泉源改修事業	9,336	3,402	鳴き砂温泉 配管等改修及びポンプ整備事業	11,263	5,000	丹後神野温泉 温泉源送揚ポンプ改修事業	1,712	1,541	夕日ヶ浦温泉 貯湯槽取替事業	6,609	5,000	八丁浜小浜温泉 水中ポンプ購入事業	1,558	1,402	桜尾温泉 配管敷設事業	28,189	5,000	みたと悠悠 濾過タンク改修事業	1,836	1,377	花ゆうみ ボイラー・ポンプ取替事業	6,662	4,996	小野小町温泉 ボイラー増設事業	8,044	5,000	誘客・宣伝事業	鳴き砂温泉 看板修繕等事業	636	477	計(11件)		78,308	35,412
事業名	事業費	補助金																																											
鳴き砂温泉 配管移設事業	2,463	2,217																																											
八丁浜小浜温泉 泉源改修事業	9,336	3,402																																											
鳴き砂温泉 配管等改修及びポンプ整備事業	11,263	5,000																																											
丹後神野温泉 温泉源送揚ポンプ改修事業	1,712	1,541																																											
夕日ヶ浦温泉 貯湯槽取替事業	6,609	5,000																																											
八丁浜小浜温泉 水中ポンプ購入事業	1,558	1,402																																											
桜尾温泉 配管敷設事業	28,189	5,000																																											
みたと悠悠 濾過タンク改修事業	1,836	1,377																																											
花ゆうみ ボイラー・ポンプ取替事業	6,662	4,996																																											
小野小町温泉 ボイラー増設事業	8,044	5,000																																											
誘客・宣伝事業	鳴き砂温泉 看板修繕等事業	636	477																																										
計(11件)		78,308	35,412																																										
主な財源	繰入金 観光インフラ整備等促進実行調整費基金繰入金			35,412千円																																									
評価・課題等	温泉の泉源維持管理等魅力ある観光地づくりに必要な事業に対して支援を行い、観光の魅力づくりを推進することができた。																																												
事業所管課	商工観光部／観光振興課																																												

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	06観光インフラ整備等促進実行調整費基金
細事業名	01 観光インフラ整備等促進実行調整費基金			決算書 P.264
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
50,901千円	50,902千円	1千円	99.9%	15千円
目的	観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金への積立金			
主要な事務・事業及び成果の概要	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金 50,877千円 (平成26年度入湯税収入相当額 50,877,300円)			
	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金(利子分) 24千円			
	(参考) 基金の状況 (単位:千円)			
	平成26年度末 現在高 ①	平成27年度中増減額		平成27年度末 現在高 ①-②+(③+④)
	58,539	繰入金 ② 35,412	運用利子 ③ 24	積立金 ④ 50,877
(充当:1事業)				
・観光の魅力づくり推進事業 35,412千円 (桜尾温泉配管敷設補助、鳴き砂温泉配管等改修及びポンプ整備補助ほか)				
主な財源	財産収入	観光インフラ整備等促進実行調整費基金利子収入	24千円	
評価・課題等				
事業所管課	財務部/財政課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	07地域活性化支援事業
細事業名	01 地域活性化支援事業			決算書 P.264
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8,409千円	8,410千円	1千円	99.9%	8,410千円
目的	地域活性化及び観光振興に寄与するイベントについて支援を行い、観光客の誘致を促進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	地域活性化及び観光振興を目的に開催されるイベントに対し補助金を交付した。			
	○いかり高原まつり 870千円 総事業費:1,090千円、開催日:5月24日、来場者:約2,000人			
	○やさか納涼祭 2,500千円 総事業費:4,614千円、開催日:7月18日、来場者:約7,000人			
	○間人みなと祭 720千円 総事業費:3,673千円、開催日:7月25日、来場者:約10,000人			
	○フェスタ「飛天」in京丹後 3,899千円 総事業費:7,617千円、開催日:8月1日、8月2日、来場者:約25,000人			
○宇川観光祭 420千円 中浜港祭り 総事業費:472千円、開催日:7月26日、来場者:約350人 宇川アユ祭り 総事業費:369千円、開催日:8月15日、来場者:約300人 穴文殊祭典 総事業費:785千円、開催日:8月24日、来場者:約500人				
主な財源	府補 繰入金	未来づくり交付金 地域振興基金繰入金		
評価・課題等	各事業を支援することで、地域活性化及び観光振興の促進が図られた。			
事業所管課	商工観光部/スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	09ｽｰｯのまちづくり推進事業
細事業名	01 ｽｰｯのまちづくり情報発信事業			決算書 P.264
総合計画	計画項目 5 「スポーツ観光」による交流の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,371千円	5,375千円	4千円	99.9%	5,809千円
目的	スポーツ広報誌「京たんごスポーツ」を発行し、スポーツを活用した観光誘客と地域経済の好循環化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	スポーツ広報誌「京たんごスポーツ」の発行 <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 取材等旅費 10千円 ○需用費 消耗品費(事務用品) 15千円 ○役務費 通信運搬費(アンケート郵送料) 10千円 ○委託料 スポーツ観光・交流のまちづくり情報誌制作委託料 5,336千円 <ul style="list-style-type: none"> 隔月発行 タブロイド判、4色カラー刷 21,700部×6回 市内小・中・高等学校、KTR主要駅、観光事業所等に配架 			
主な財源	諸収入	地方公共団体ｽｰｯ活動助成金	4,277千円	
評価・課題等	○読者アンケートを基に掲載内容等の精査を行い、より魅力的な紙面づくりを行うことができた。 ○市外向けの大会情報、観光情報を織り交ぜて発信するなど、更なる観光・交流人口の増加につながる紙面づくりを図る必要がある。			
事業所管課	商工観光部/スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	09ｽｰｯのまちづくり推進事業
細事業名	02 ｽｰｯﾊﾞﾝﾄ推進事業			決算書 P.264
総合計画	計画項目 5 「スポーツ観光」による交流の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
10,851千円	11,065千円	214千円	98.0%	11,617千円
目的	本市で様々なスポーツイベントを開催することにより交流人口の増加を図るとともに、大会を通じて全国へ本市の魅力进行PRする。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費、有料道路通行料、駐車料 大会打合せ等出張経費 69千円 ○需用費 事務消耗品 28千円 ○2015京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会 1,800千円 開催日：7月26日(日) 参加者数：78チーム、約900人 ・ドラゴンカヌー大会補助金 1,800千円 ○丹後半島ラリー2015 282千円 開催日：8月29(土)、30日(日) 出走台数：54台 ・会場設営、広報費用等 282千円 ○ヒストリック関西ラリー2015 547千円 開催日：10月24日(日) 出走台数：44台 ・会場設営、広報費用等 547千円 ○2015歴史街道丹後100kmウルトラマラソン 5,000千円 開催日：9月20日(日) 参加者数：3,610人 ・丹後100kmウルトラマラソン補助金 4,329千円 ・参加者送迎用バス運転委託料 671千円 ○丹後大学駅伝(第77回関西学生対校駅伝競走大会) 925千円 開催日：11月21日(土) 参加校：20校 ・丹後大学駅伝後援会負担金 900千円 ・公用車燃料費 25千円 ○観光業等活性化推進事業補助金 2,200千円 交付件数：16件(100千円×15件、700千円×1件) 			
主な財源	府補 繰入金	未来づくり交付金(ｽｰｯﾊﾞﾝﾄ推進事業) ふるさと応援基金繰入金	4,900千円	
評価・課題等	○スポーツイベントの開催により、交流人口及び経済波及効果の増加とともに、本市の魅力を全国に発信することができた。 ○歴史街道丹後100kmウルトラマラソンについては、海外からの参加も含め過去最高の参加者数となった。 ○スポーツイベントを支える仕組みづくりを構築する必要がある。			
事業所管課	商工観光部/スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	10海の京都推進事業	
細事業名	01 海の京都推進事業			決算書 P.266	
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
22,586千円	32,733千円	10,147千円	69.0%	31,722千円	
目的	日本の顔となるブランド観光地域を目指し、京都府及び北部5市2町が連携して取り組む「海の京都」関連事業を推進することにより、誘客と宿泊の促進を図る。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	○観光地域ブランド確立支援事業負担金 8,717千円 海の京都観光圏事業として、海の京都戦略拠点（久美浜及び夕日ヶ浦エリア）で周遊観光の実証事業に取り組むため、事業主体となる海の京都観光推進協議会へ負担金を支出した。 ・実施内容：久美浜及び夕日ヶ浦エリアにおける遊覧船及び周遊バスの運行 ・運行期間：平成27年7月25日～10月31日の土日祝日 ・運行実績：遊覧船346人、周遊バス111人				
	○海の京都観光圏関連事業 10,772千円 ・海の京都観光推進協議会負担金 5,718千円 府と北部7市町・商工観光関係団体によって構成される海の京都観光推進協議会へ負担金を支出し、海の京都観光圏に係る事業を推進した。 ・海の京都博市町村分担金 5,000千円 ・「-UMI×MACHI-京丹後旅博」の開催に関する式典経費 54千円				
	○海の京都推進事業補助金 2,000千円 「海の京都」京丹後市マスタープランを推進するため、みなと食堂漁師めしの取組や京丹後市コンセプトツアーの実施、パンフレットの制作など、「海の京都」京丹後市実践会議が実施する活動を支援した。				
	○ウォーターフロント開発協会会費 50千円				
	○臨時職員賃金等（1人） 849千円				
	○職員旅費及び商標登録出願手数料 198千円				
			参考	繰越明許費を除いた最終予算額 22,733千円	
				実質的な予算執行率 99.3%	
	■平成28年度への繰越事業 夕日の広場（仮称）実施設計業務 10,000千円 ※平成28年9月完了予定				
	主な 財源	諸収入	観光地域ブランド確立支援事業補助金	3,579千円	
市債		過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	3,200千円		
評価・ 課題等	○「海の京都博」（7/18～11/15）に合わせ、海の京都戦略拠点で周遊観光の実証実験を実施するなど「-UMI×MACHI-京丹後旅博」を開催し、期間中の市内観光入込客数が大幅に増加した。				
	○本市マスタープランの推進により地域の観光魅力づくりに寄与することができた。				
	○今後、実践会議と連携し、周遊観光の推進及び各コンテンツの改善や開発、観光商品のさらなる造成と併せて、周知の早期化など効果的なPRが必要である。				
事業所管課	商工観光部／観光振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	10海の京都推進事業	
細事業名	02 ゴザンパーク推進事業			決算書 P.266	
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
15,644千円	16,132千円	488千円	96.9%	15,763千円	
目的	ユネスコ世界ジオパーク「山陰海岸ジオパーク」の教育・学習活動への活用や普及啓発を行い、ジオツーリズム等ジオパーク活動を通じた地域活性化を図る。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	【京丹后市ジオパークネットワーク推進会】 27千円 ○会議委員謝金及び費用弁償 27千円				
	【拠点施設・ジオサイト等整備】 5,268千円 ○拠点施設の運営管理委託（道の駅てんきてんき丹後内） 3,663千円 ○拠点施設展示パネル移設工事 219千円 ○ジオサイト誘導看板移設工事・誘導看板取替工事 633千円 ○草刈等ジオサイトの保護安全管理 753千円				
	【山陰海岸ジオパーク普及啓発等】 6,839千円 ○ジオパーク宝探しイベント実施（抽選応募枚数783枚） 4,747千円 ○ジオトレッキング（1回・21人参加） 23千円 ○公開講座「京丹後市の大地と歴史」開催（5回延べ139人参加） 55千円 ○小学校体験授業「大地の学習」冊子印刷（市内20校580人参加） 59千円 ○普及啓発PR活動（現地ガイド、事務局旅費等） 212千円 ○普及啓発用消耗品費等 567千円 ○パンフレット・マップ等印刷 428千円 ○新聞、旅行情報誌等広告料 421千円 ○APGN山陰海岸ジオパーク・JGNガイドフォーラム開催受入経費 327千円				
	【負担金】 3,510千円 ○山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金 2,647千円 ○山陰海岸ジオパーク推進協議会APGN負担金 433千円 ○APGN山陰海岸ジオパーク・JGNガイドフォーラム参加負担金 430千円				
	主な 財源	府補	山陰海岸世界ジオパーク推進事業補助金	2,000千円	
		府補	海の京都博関連事業補助金	1,500千円	
		繰入金	地域振興基金繰入金	5,000千円	
	評価・ 課題等	○平成27年9月にAPGN山陰海岸シンポジウム、JGNガイドフォーラムの受入開催などにより、山陰海岸ジオパークのグローバルなPRにつながったほか、開催期間中には世界20か国から618人が参加した。			
		○平成27年11月にユネスコの正式プログラムに認定されたことを契機に、市民への一層の啓発とともに、外国人観光客の受入、民間と連携したツーリズムの推進等を図り、海の京都と連携したジオツーリズムの一層の推進を図る予定。			
	事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	10海の京都推進事業
細事業名	03 日本一の砂浜海岸づくり推進事業			決算書 P.266
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,216千円	13,538千円	3,322千円	75.4%	19,592千円
目的	年間を通じて賑わう日本一の砂浜海岸づくりのため、美しい砂浜海岸を保全するとともに、ビーチスポーツ等の活用を推進し、交流人口の増加と本市の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本一の砂浜海岸づくり実行推進会議 141千円 <ul style="list-style-type: none"> ・旅費、有料道路通行料等 ○ 日本一美しく豊かな砂浜海岸のまち協議会 40千円 <ul style="list-style-type: none"> ・会場借上料 ○ 砂浜海岸の保全事業 4,035千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチ斉クリーン作戦 697千円 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：6月14日(日) 参加者数：約300人 ・海水浴場清掃美化業務委託 1,190千円 ・遊歩道堆積砂撤去委託料 270千円 ・海岸清掃重機借上料 890千円 ・流木撤去工事(葛野) 988千円 ○ にぎわう浜辺づくり振興事業補助金 6,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回ビーチスポーツフェスティバルin京丹後 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：7月19日(日) 参加者数：約1,600人 			
主な財源	府補	スポーツ観光聖地づくり事業補助金	3,000千円	
	府補	未来づくり交付金(日本一の砂浜海岸づくり推進事業)	1,000千円	
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	100千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ビーチ斉クリーン作戦をはじめ市民一体となった砂浜海岸の清掃活動を通じ、美しい海岸の保全に寄与した。 ○ビーチスポーツフェスティバルを開催して市内外から約1,600人の参加者を集め、砂浜海岸の賑わいづくりを推進できた。 ○さらにビーチを活用した、賑わう浜辺づくりに取り組む必要がある。 			
事業所管課	商工観光部/スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	10海の京都推進事業
細事業名	03 日本一の砂浜海岸づくり推進事業(繰越)			決算書 P.268
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
81,555千円	105,410千円	23,855千円	77.3%	105,410千円
目的	年間を通じて賑わう日本一の砂浜海岸づくりのため、海の京都を象徴する小天橋海岸から箱石海岸にかけて遊歩道を整備し、交流人口の増加と本市の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小天橋箱石海岸遊歩道整備工事 81,555千円 <ul style="list-style-type: none"> 第1工区(延長：610m) 14,683千円 第2工区(延長：1,498m) 41,300千円 第3工区(延長：942m) 25,572千円 			
主な財源	市債	海岸遊歩道整備事業債(合併特例債)	77,400千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○小天橋から箱石海岸への遊歩道整備を進め、砂浜海岸活用のための環境整備を推進できた。 ○市観光協会等と連携した砂浜海岸活用事業を進める必要がある。 			
事業所管課	商工観光部/スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	10海の京都推進事業
細事業名	04 かぶと山園地整備事業			決算書 P.266
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
4,104千円	4,104千円	0千円	100.0%	130,100千円
目的	「海の京都」京丹後市マスタープランに掲げた公園整備として、かぶと山展望台への動線整備等を行い、新たな誘客につなげるとともに地域の活性化を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>かぶと山山頂からの素晴らしい眺めをPRし、観光客誘致を推進するため、「海の京都」京丹後市マスタープランに基づき整備される市道拡幅に伴い、中腹に駐車場及びトイレの整備、駐車場から山頂展望台への遊歩道の整備を行う。</p> <p>○かぶと山園地整備に伴う水道管敷設工事実施設計業務委託料 4,104千円 かぶと山園地中腹に整備予定の駐車場トイレ用の水道管整備実施設計に要する経費</p> <p>〔かぶと山展望台更新に伴う山頂への動線整備〕 実施期間：平成26年度～平成30年度（予定） 進入道路の拡幅：延長約800m（土木費で計上） 駐車場及びトイレの整備 駐車場から山頂展望台への遊歩道整備（延長約850m）</p>			
主な財源	市債	観光施設整備事業債（過疎対策債）	4,100千円	
評価・課題等	山頂展望台への動線整備については、平成30年度末の完成を目指して、計画的に実施していく必要がある。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	10海の京都推進事業
細事業名	04 かぶと山園地整備事業（繰越）			決算書 P.268
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,825千円	7,110千円	1,285千円	81.9%	7,110千円
目的	「海の京都」京丹後市マスタープランに掲げた公園整備として、かぶと山展望台への動線整備等を行い、新たな誘客につなげるとともに地域の活性化を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「海の京都」京丹後市マスタープランに基づき、キャンプ場側からの既存の登山道について整備を行った。</p> <p>○かぶと山園地登山道等整備 5,825千円 ＜登山道整備工事＞ 5,793千円 ・階段部分の復旧（延長約80m、幅1.5m） ・既存コンクリート舗装路面の塗り直し（延長約120m、幅2.0m）と舗装の延伸（延長約320m、幅2.0m） ＜案内看板設置＞ 32千円 ・かぶと山登山道への誘導及び啓発看板を設置</p>			
主な財源	市債	観光施設整備事業債（過疎対策債）	5,825千円	
評価・課題等	山頂展望台への動線整備については、平成30年度末の完成を目指して、計画的に実施していく必要がある。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	50観光振興一般経費	
細事業名	01 観光振興一般経費			決算書	P.268
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
903千円	952千円	49千円	94.8%	182千円	
目的	各種団体への加盟に伴う負担金拠出などにより観光の振興を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○事務費 828千円 <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費 27千円 ・事務消耗品、修繕費 243千円 ・寄附された球体オブジェの解体運搬等経費 544千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料 14千円 ○協議会等加盟団体負担金 75千円 <ul style="list-style-type: none"> ・国民保養温泉地協議会負担金 45千円 ・近畿道の駅連絡会負担金 30千円 				
主な財源					
評価・課題等	加盟団体作成の各種パンフレット、ホームページの活用を通じて本市のPRを図るとともに、加盟団体からの情報提供により観光振興に資することができた。				
事業所管課	商工観光部/スポーツ観光・交流課、観光振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	01海浜等施設管理事業	
細事業名	01 海浜等施設管理事業			決算書	P.268
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
8,674千円	8,747千円	73千円	99.1%	8,103千円	
目的	海水浴場等の観光関連施設の維持管理を行い、観光客の利便性及び快適性の向上を図るとともに、海岸地域の美化に努める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>海水浴場等に設置したトイレ、休憩所等の清掃、修繕等の維持管理を行い、訪れる観光客に清潔で快適な観光施設を提供した。また、大雨等による海岸漂着ごみの撤去を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 消耗品費（トイレトーパー、清掃用消耗品等） 60千円 光熱水費（電気料金、上下水道料金） 2,850千円 修繕料（浄化槽修繕、水道設備修繕等） 1,114千円 ○役務費 手数料（し尿汲み取り手数料、浄化槽法定検査料等） 1,093千円 保険料 67千円 ○委託料 施設維持管理委託料 310千円 トイレ清掃委託料 76千円 浄化槽維持管理委託料 607千円 海水浴場清掃美化委託料 1,923千円 施設清掃委託料 411千円 ○使用料及び賃借料 土地借上料 163千円 				
主な財源					
評価・課題等	施設の維持・修繕を行うとともに、海岸漂着ごみの撤去を行い、観光客に良好で快適な環境を提供することができた。				
事業所管課	商工観光部/スポーツ観光・交流課				

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	02自然公園管理事業
細事業名	01 自然公園管理事業			決算書 P.270
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
13,207千円	13,400千円	193千円	98.5%	13,157千円
目的	市内の国立公園及び国定公園区域内にある京都府の公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府の公園施設(京都府からの管理委託業務を地元区等に再委託)について適正な維持管理・環境保全を行った。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○消耗品費、光熱水費 2,083千円 ○修繕料(五色浜園地公衆トイレ給水施設修繕等) 1,050千円 ○手数料(し尿汲取手数料) 1,495千円 ○自然公園等施設管理委託料(16園地) 6,220千円 ○自然公園内ごみ収集委託料(5園地) 1,484千円 ○トイレ清掃・水道施設管理委託料・バイオトイレ維持管理委託料 672千円 ○賃借料(土地借上料) 160千円 ○原材料費 26千円 ○自然公園保護協会負担金 15千円 ○職員旅費 2千円 			
主な財源	府委	国立公園・国定公園管理委託金	8,694千円	
評価・課題等	公園施設等の維持管理・環境保全が適切に行われ、観光客に快適な環境を提供することができた。			
事業所管課	商工観光部/観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業	
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.270	
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
109,028千円	109,047千円	19千円	99.9%	111,920千円	
目的	観光関連施設の管理運営を指定管理者へ委託し、民間事業者のノウハウを活用した適切な施設運営と維持管理を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○指定管理委託料(90,114千円)及び利用状況				
	施設名	指定管理料(千円)	利用状況(人)		
			H27年度	H26年度	前年比
天女の里	10,056	23,547	22,119	106.5%	
小町公園	3,476	3,428	4,184	81.9%	
浅茂川温泉静の里	22,393	127,648	126,492	100.9%	
道の駅てんぎてんぎ丹後	0	144,848	120,884	119.8%	
丹後温泉はしうど荘	3,409	37,014	30,241	122.4%	
碓高原ステッキハウス	0	9,094	8,270	110.0%	
宇川温泉よし野の里	5,025	89,801	99,575	90.2%	
高嶋園地	0	11,630	11,700	99.4%	
森林公園スイス村	32,689	12,559	15,815	79.4%	
弥栄あしぎぬ温泉	2,614	124,885	114,610	109.0%	
風蘭の館	1,053	2,157	2,306	93.5%	
奥山自然たいけん公園	912	3,252	2,589	125.6%	
久美浜豪商稲葉本家	6,116	19,453	23,960	81.2%	
かぶと山公園	1,734	4,558	4,216	108.1%	
丹後自然体験学習関連施設	637	162	178	91.0%	
計	90,114	614,036	587,139	104.6%	
○その他(18,914千円)					
水道水質検査委託料	1,247	保険料(火災・自動車損害)		1,543	
受変電設備保守管理委託料	184	土地借上料(施設用地)		1,412	
施設清掃委託料	130	あしぎぬ温泉電気代		12,474	
電話回線休止手数料	2	特殊建築物等報告業務委託料		1,922	
主な財源	諸収入	水質検査料一部負担金	95千円		
	諸収入	弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金	11,849千円		
評価・課題等	指定管理者による適切な運営管理により、利用者に良好で快適な施設環境を提供することができた。				
事業所管課	商工観光部/スポーツ観光・交流課				

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.270
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
33,946千円	63,263千円	29,317千円	53.6%	21,035千円

目的	指定管理施設の必要な修繕・改修を実施することで、適切な維持管理を進める。			
主要な事業及び成果の概要	<p>観光関連の指定管理施設について必要な改修・修繕を実施し、施設利用者の安全性の確保と利便性・快適性を維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 需用費（修繕料） 12,960千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スイス村水源ポンプ、グレンデ食堂カーペット等修繕 5,046千円 ・あしぎぬ温泉冷凍庫、調温器修繕 1,014千円 ・はしうど荘エアコン、循環ポンプ修繕 908千円 ・奥山自然たいけん公園ガス給湯器修繕 373千円 ・よし野の里ジェットポンプ修繕 339千円 ・碓高原ステーキハウス屋内防虫処理 124千円 ・静の里浄化槽ばっ気プロア、エレベーター等修繕 2,758千円 ・道の駅てんきてんき丹後エアコン等修繕 983千円 ・かぶと山虹の家消防設備修繕 475千円 ・天女の里水位弁修繕 562千円 ・風蘭の館エアコン修繕 378千円 ○ 委託料 1,743千円 <ul style="list-style-type: none"> ・静の里修繕工事設計業務委託 1,605千円 ・スイス村水源ポンプ点検調査業務委託 138千円 ○ 工事請負費 10,850千円 <ul style="list-style-type: none"> ・あしぎぬ温泉エレベーターインバータ改修工事 1,311千円 ・道の駅てんきてんき丹後トイレ便座改修工事 616千円 ・浅茂川温泉静の里外灯、非常照明等改修工事 3,279千円 ・スイス村スキー場第1・第3リフト等修繕工事 3,991千円 ・よし野の里露天風呂ウッドデッキ改修工事 489千円 ・はしうど荘プレハブ冷凍庫改修工事 1,164千円 			

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.270
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進		

主要な事業・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 備品購入費 8,393千円 <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅てんきてんき丹後製氷機、冷蔵庫等購入 1,012千円 ・はしうど荘ボイラー、製氷機購入 1,084千円 ・あしぎぬ温泉炊飯ロボ、レジスター購入 1,396千円 ・碓高原ステーキハウス冷蔵庫購入 656千円 ・スイス村スキー場第3リフト圧索器購入 2,030千円 ・静の里温泉券売機購入 1,553千円 ・天女の里テント、消火器購入 437千円 ・久美浜豪商稲葉本家冷蔵庫購入 225千円 			
主な財源	府補	未来づくり交付金（指定管理施設大規模改修事業）	10,000千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理者による適切な運営管理により、利用者に良好で快適な施設環境を提供することができた。 ○ 施設の老朽化に伴い、修繕が年々増加傾向にあることから、計画的に更新や改修を行う必要がある。 			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	50観光等施設一般経費	
細事業名	01 観光等施設一般経費			決算書 P.272	
総合計画	計画項目	4 四季を通じた滞在型観光の促進			
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額	
12,863千円		13,169千円	306千円	97.6% 12,288千円	
目的	観光等施設の適切な維持管理により、観光客等の利用促進及び市民の憩いの場としての環境づくりを推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	観光等施設において、清掃や草刈りを行うなど適切な維持管理に努め、観光客や市民の憩いの場、安らぎの場となる環境づくりを推進した。				
	○ 施設管理用消耗品・燃料費	244千円			
	○ 光熱水費 (トイレ等電気料、上下水道使用料ほか)	2,130千円			
	○ 修繕料 (静の杜トイレ修繕、離湖公園外灯修繕ほか)	823千円			
	○ 通信運搬費 (離湖公園電話料)	32千円			
	○ 手数料 (し尿汲取手数料ほか)	337千円			
	○ 保険料 (建物火災保険・自動車損害保険)	169千円			
	○ 施設管理委託料 (清掃、草刈、水質検査、機械整備ほか)	8,265千円			
		地域名	施設名		
		峰山地域	羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園など		
	大宮地域	平地地藏公園、ブナハウス内山など			
	網野地域	子午線塔、静の杜など			
	丹後地域	経ヶ岬・碓高原水道施設、碓高原畜産展示資料館など			
	弥栄地域	細川ガラシャ夫人の碑周辺、圧雪業務など			
	久美浜地域	東山公園、城山公園、山内施設、ドラゴン艇庫など			
	○ 圧雪業務委託料 (伊根町：風力発電施設)	335千円			
	○ 土地借上料 (ブナハウス内山用地、網野駅観光車両待避所用地ほか6か所)	448千円			
	○ 原材料支給 (山内陶芸棟砕石)	40千円			
	○ 公課費 (離湖公園管理車両重量税)	9千円			
	○ 負担金 (小町温泉温泉スタンド電気料負担金)	31千円			
主な財源	府委 碓高原畜産展示資料館管理委託料 (10/10)	1,059千円			
	諸収入 丹後温泉電力料	470千円			
	諸収入 圧雪業務委託金	335千円			
	諸収入 丹後温泉源泉管理負担金	194千円			
評価・課題等	清掃、修繕等の維持管理を適切に行い、利用者に良好で快適な施設環境を提供できた。				
事業所管課	商工観光部/スポーツ観光・交流課				

予算科目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	03地籍調査事業
細事業名	01 地籍調査事業			決算書 P.276
総合計画	計画項目	14 計画的な土地利用の推進		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
12,115千円		14,984千円	2,869千円	80.8% 14,984千円
目的	国土調査法による地籍調査を行い、適正な土地利用の推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	山陰近畿自動車道の早期の整備促進と円滑な土地利用を図るため、大宮町森本地区において土地所有者との境界立会い及び境界点の測量を行った。			
	○ 嘱託職員報酬、共済費、費用弁償 (1人)	2,416千円		
	○ 旅費	69千円		
	・ 専門課程国土調査職員研修費 (1人)	52千円		
	・ 地籍調査担当者会議及び講習会	17千円		
	○ 地籍調査支援システム保守業務委託料、システム使用料	639千円		
	○ 公用車購入	810千円		
	・ 軽箱バン (1台)	756千円		
	・ 自動車登録手数料等役務費、自動車重量税等公課費等	54千円		
	○ 地籍調査業務委託料 (大宮森本地区1工区 (0.23km ²))	7,776千円		
※ 地籍図根多角点測量、一筆地調査 (境界立会い)、一筆地測量				
○ 地籍調査推進委員報償費 (6人)	180千円			
○ 地籍調査事務費等	225千円			
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	12,124千円	
		実質的な予算執行率	99.9%	
	■ 平成28年度への繰越事業			
	・ 地籍調査事業	平成28年7月完成	2,860千円	
	※ 大宮森本地区2工区 (0.06km ²)			
主な財源	府補	地籍調査事業補助金 (3/4)	8,895千円	
評価・課題等	○ 調査地区内の土地境界立会い及びその境界点の測量が完了した。 ○ 調査の効率化を図るため、土地所有者等に事業の重要性を理解してもらい、協力体制を築く必要がある。			
事業所管課	建設部/管理課			

予算科目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	50土木総務一般経費
細事業名	01 土木総務一般経費			決算書 P.276
総合計画	計画項目	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
21,177千円		24,938千円	3,761千円	84.9% 20,355千円
目的	土木行政を行う上で必要な事務事業の実施及び市道の管理に必要な道路台帳の修正、未登記用地の整理を行い、土木関係事業の円滑な推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	土木関係事業を円滑に行うために必要な経費を支出し、適正かつ効率的な事業を実施した。			
	○土木一般管理事務費			706千円
	普通旅費・事務消耗品・有料道路通行料等			
	○市道照明電気代			1,317千円
	○公用車維持管理費(8台)			1,194千円
	○測量設計等委託料			2,074千円
	○道路用地登記業務委託料(11件)			8,352千円
	○道路台帳システム保守委託料			540千円
	○道路台帳補正業務委託料			4,305千円
	○道路台帳システム更新費用(ソフトウェア使用料、備品購入費等)			1,140千円
○道路関係各種協会、協議会等負担金(5団体)			288千円	
○市道事故賠償金(3件)			975千円	
○管理課業務労働者派遣委託料(2か月)			286千円	
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	21,583千円	
		実質的な予算執行率	98.1%	
	■平成28年度への繰越事業(未登記整理業務)			3,355千円
	・市道米川本郷線未登記敷地整理業務	平成28年5月完成	404千円	
	・市道吉沢河辺線未登記敷地整理業務	平成28年6月完成	450千円	
	・市道呉服桜内線未登記敷地整理業務	平成28年6月完成	293千円	
	・市道東小路稗田線未登記敷地整理業務	平成28年12月完成予定	1,707千円	
	・市道余儿部線未登記整理業務ほか	平成29年3月完成予定	501千円	
主な財源	手数料	屋外広告物許可手数料	546千円	
	手数料	境界確定調査事務手数料	27千円	
	諸収入	総合賠償補償保険金	975千円	
	諸収入	市有自動車損害共済金	212千円	
評価・課題等	市道管理に必要な道路台帳システムの更新、道路用地の未登記物件の登記を行い、土木関係事業を推進することができた。			
事業所管課	建設部/管理課			

予算科目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	50土木総務一般経費	
細事業名	01 土木総務一般経費(繰越)			決算書 P.278	
総合計画	計画項目	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①) 執行率 (参考) 当初予算額	
8,233千円		10,591千円	2,358千円	77.7% 10,591千円	
目的	市道等の分筆登記が未処理の箇所における調査測量、分筆登記の処理を行い、道路事業の円滑な推進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	分筆登記が未処理であった市道湊宮松原線、松原日間線、市道三宅1号線及び市道宮ノ下船岡線について、地権者の調査などを行い分筆登記を行った。				
	○市道湊宮松原線、松原日間線未登記敷地整理業務(久美浜町湊宮)			4,093千円	
	用地調査・登記申請業務				
	○市道三宅1号線未登記敷地整理業務(丹後町三宅)			316千円	
	用地調査・登記申請業務				
	○市道宮ノ下船岡線未登記敷地整理業務(弥栄町芋野)			3,824千円	
	用地調査・登記申請業務				
	主な財源				
	評価・課題等	市道用地の適正な管理を行うことができた。			
	事業所管課	建設部/管理課			

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁維持費	01道路橋梁維持補修事業				
細事業名	01 市道環境整備事業			決算書 P.278				
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額				
58,168千円	74,097千円	15,929千円	78.5%	48,567千円				
目的	市道の草刈り及び道路施設等の維持補修を行い、地域の生活道路の環境整備や事故防止を図る。							
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	道路パトロール作業員による安全点検や危険箇所における緊急措置を行うとともに、通行の安全管理のため、道路の草刈りや交通安全施設等の補修を行った。							
	○市道草刈・支障木伐採委託料 26,762千円							
		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
	業者委託路線	9	6	9	11	9	5	49
	地区委託路線	2	1	5	4	1	4	17
	○市道環境整備工事 11,811千円 防護柵、ガードレール、カーブミラー、区画線等							
	○市道環境整備修繕 8,780千円							
	・法定外(里道・水路)修繕 9か所 2,582千円							
	・カーブミラー修繕 14か所 1,343千円							
	・交通安全施設(防護柵等) 弥栄町木橋ほか11か所 1,699千円							
・地域協働型小規模公共事業(19か所) 3,156千円								
○原材料費(カーブミラー鏡体及び取付金具等) 1,129千円								
○道路パトロール経費 9,486千円								
・道路パトロール作業員賃金・共済費(4人) 7,145千円								
・作業用消耗品、燃料費、保険料等 2,210千円								
・公用車・機械器具修繕料 131千円								
○電柱の支障移転工事補償金 200千円								
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		59,597千円				
		実質的な予算執行率		97.6%				
■平成28年度への繰越事業								
・市道周枳森本線環境整備事業 平成28年12月完成予定 14,500千円								
主な財源								
評価・課題等	○市道における道路施設の点検及び修繕対応など維持管理に努め、事故防止の徹底を図った。 ○道路施設の老朽化が進んでいるため、「市道事故ゼロ」を目指し、パトロール強化を行う必要がある。							
事業所管課	建設部/管理課							

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁維持費	01道路橋梁維持補修事業						
細事業名	02 市道維持補修事業			決算書 P.278						
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額						
90,971千円	130,894千円	39,923千円	69.4%	91,545千円						
目的	老朽化、経年損耗等によって通行に支障が生じている道路、橋梁施設の維持補修を行い、道路交通における安心・安全を確保する。									
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	修繕料、機械借上、原材料により、道路の補修を行った。また、市道橋梁の維持工事のための仮橋用地を借地しているほか、16か所で修繕工事を実施した。									
	○修繕料 市道木津溝野線道路維持修繕工事ほか176か所 41,823千円									
	○補償費 市道小坂オベソ線仮橋用地補償料(247m) 49千円									
	○機械借上料・原材料費 15,465千円									
	区分	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	その他	合計	
	機械借上料	件数	25	8	8	2	15	21	9	88
		金額	394	372	224	96	647	544	188	2,465
	原材料費	件数	30	18	14	3	20	52	112	249
		金額	1,646	1,279	1,071	281	1,200	4,954	2,569	13,000
	○市道維持工事 33,634千円									
区分	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計			
委託費	件数				1		1			
	金額				3,456		3,456			
工事請負費	件数	5	2	4	1	2	2	16		
	金額	8,259	2,312	8,529	1,596	2,659	6,823	30,178		
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		91,114千円						
		実質的な予算執行率		99.8%						
■平成28年度への繰越事業 39,780千円										
・道路構造物修繕 平成28年7月完成 16,580千円										
・峠ノ堂線、間人漁港線 平成28年7月完成 17,000千円										
・別荘橋ほか3橋 平成28年12月完成予定 6,200千円										
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金		30,000千円						
	市債	道路改良事業債(合併特例債)		19,600千円						
	市債	道路改良事業債(過疎対策債)		11,900千円						
評価・課題等	道路構造物の老朽化及び経年損耗等が進行しており、定期的な点検及び計画的な修繕が必要である。									
事業所管課	建設部/管理課、土木課									

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁維持費	01道路橋梁維持補修事業
細事業名	02 市道維持補修事業（線越）			決算書 P.280
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
894千円	900千円	6千円	99.3%	900千円
目的	老朽化、経年損耗等によって通行に支障が生じている道路、橋梁施設の維持補修を行い、道路交通における安心・安全を確保する。			
主要な業務・事業及び成果の概要	<p>平成26年度から線越した1路線について事業を実施した。</p> <p>○事業費 河原地線（弥栄町等楽寺）L=20m 側溝工 894千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	老朽化及び経年損耗等により通行に支障が生じている道路施設を補修することにより、安心・安全な通行の確保を図った。			
事業所管課	建設部/土木課			

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	01道路新設改良事業																																																																																										
細事業名	01 道路新設改良事業			決算書 P.280																																																																																										
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実																																																																																													
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																																										
80,463千円	125,817千円	45,354千円	63.9%	126,138千円																																																																																										
目的	道路施設の新設改良工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。																																																																																													
主要な業務・事業及び成果の概要	<p>道路の新設改良事業として、16路線の拡幅、側溝、舗装の整備を実施した。</p> <p>○事業費 80,463千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>委託料</th> <th>工事請負費</th> <th>財産購入費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>中川新治五反田線（峰山町菅）</td><td>1,069</td><td>5,600</td><td></td><td>6,669</td></tr> <tr><td>爰力セ1号線（峰山町新町）</td><td>11,521</td><td></td><td></td><td>11,521</td></tr> <tr><td>中長上高地線（峰山町内記）</td><td></td><td>1,371</td><td></td><td>1,371</td></tr> <tr><td>山王谷樋ノ口線（峰山町菅）</td><td>3,441</td><td></td><td></td><td>3,441</td></tr> <tr><td>丁田線（峰山町鱒留）</td><td>2,888</td><td></td><td></td><td>2,888</td></tr> <tr><td>大ボヘ古川線（峰山町新町）</td><td></td><td>5,600</td><td></td><td>5,600</td></tr> <tr><td>石ヶ下岡ノ坊線（峰山町荒山）</td><td>354</td><td></td><td></td><td>354</td></tr> <tr><td>奥大野中央線（大宮町奥大野）</td><td></td><td>1,536</td><td></td><td>1,536</td></tr> <tr><td>野川線（大宮町河辺）</td><td></td><td></td><td>4,897</td><td>4,897</td></tr> <tr><td>大野新田大野谷線（大宮町口大野）</td><td></td><td></td><td>108</td><td>108</td></tr> <tr><td>上石橋（網野町切畑）</td><td>6,318</td><td></td><td></td><td>6,318</td></tr> <tr><td>内ヶ森西池新田線（網野町浅茂川）</td><td>1,350</td><td></td><td></td><td>1,350</td></tr> <tr><td>水之江北大路線（網野町網野）</td><td></td><td>14,998</td><td></td><td>14,998</td></tr> <tr><td>上遠下中央線（丹後町遠下）</td><td></td><td>2,709</td><td></td><td>2,709</td></tr> <tr><td>溝谷中央線（弥栄町溝谷）</td><td></td><td>2,521</td><td></td><td>2,521</td></tr> <tr><td>西本町河梨線（久美浜町西本町）</td><td></td><td>13,247</td><td></td><td>13,247</td></tr> <tr><td>事務費（旅費、消耗品、燃料費、使用料）</td><td></td><td></td><td></td><td>935</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">参考 線越明許費を除いた最終予算額 80,567千円 実質的な予算執行率 99.8%</p> <p>■平成28年度への線越事業（8路線） 平成29年3月完成予定 45,250千円</p>				路線名	委託料	工事請負費	財産購入費	合計	中川新治五反田線（峰山町菅）	1,069	5,600		6,669	爰力セ1号線（峰山町新町）	11,521			11,521	中長上高地線（峰山町内記）		1,371		1,371	山王谷樋ノ口線（峰山町菅）	3,441			3,441	丁田線（峰山町鱒留）	2,888			2,888	大ボヘ古川線（峰山町新町）		5,600		5,600	石ヶ下岡ノ坊線（峰山町荒山）	354			354	奥大野中央線（大宮町奥大野）		1,536		1,536	野川線（大宮町河辺）			4,897	4,897	大野新田大野谷線（大宮町口大野）			108	108	上石橋（網野町切畑）	6,318			6,318	内ヶ森西池新田線（網野町浅茂川）	1,350			1,350	水之江北大路線（網野町網野）		14,998		14,998	上遠下中央線（丹後町遠下）		2,709		2,709	溝谷中央線（弥栄町溝谷）		2,521		2,521	西本町河梨線（久美浜町西本町）		13,247		13,247	事務費（旅費、消耗品、燃料費、使用料）				935
路線名	委託料	工事請負費	財産購入費	合計																																																																																										
中川新治五反田線（峰山町菅）	1,069	5,600		6,669																																																																																										
爰力セ1号線（峰山町新町）	11,521			11,521																																																																																										
中長上高地線（峰山町内記）		1,371		1,371																																																																																										
山王谷樋ノ口線（峰山町菅）	3,441			3,441																																																																																										
丁田線（峰山町鱒留）	2,888			2,888																																																																																										
大ボヘ古川線（峰山町新町）		5,600		5,600																																																																																										
石ヶ下岡ノ坊線（峰山町荒山）	354			354																																																																																										
奥大野中央線（大宮町奥大野）		1,536		1,536																																																																																										
野川線（大宮町河辺）			4,897	4,897																																																																																										
大野新田大野谷線（大宮町口大野）			108	108																																																																																										
上石橋（網野町切畑）	6,318			6,318																																																																																										
内ヶ森西池新田線（網野町浅茂川）	1,350			1,350																																																																																										
水之江北大路線（網野町網野）		14,998		14,998																																																																																										
上遠下中央線（丹後町遠下）		2,709		2,709																																																																																										
溝谷中央線（弥栄町溝谷）		2,521		2,521																																																																																										
西本町河梨線（久美浜町西本町）		13,247		13,247																																																																																										
事務費（旅費、消耗品、燃料費、使用料）				935																																																																																										
主な財源	市債	道路改良事業債（合併特例債）		76,000千円																																																																																										
評価・課題等	道路施設の新設改良工事を実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。																																																																																													
事業所管課	建設部/土木課																																																																																													

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	01道路新設改良事業	
細事業名	01 道路新設改良事業（繰越）			決算書 P.280	
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
10,302千円	17,333千円	7,031千円	59.4%	17,333千円	
目的	道路施設の新設改良工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。				
主要な 業務・ 事業 及び 成果 の 概要	平成26年度から繰越した4路線について事業を実施した。				
	○事業費 10,302千円				
	路線名	委託料	工事請負費	土地購入費	合計
	中八反畑線（大宮町河辺）	2,384			2,384
	余儿部線（大宮町善王寺）	4,037			4,037
中河原線（大宮町口大野）	901		1,519	2,420	
穴ノ谷口線（弥栄町溝谷）		1,461		1,461	
合計	7,322	1,461	1,519	10,302	
主な財源	市債 道路改良事業債（合併特例債）			5,700千円	
評価・課題等	道路施設の新設改良工事を実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。				
事業所管課	建設部/土木課				

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	03過疎対策道路整備事業
細事業名	01 過疎対策道路整備事業			決算書 P.280
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
10,686千円	16,763千円	6,077千円	63.7%	73,850千円
目的	道路施設の新設改良工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。			
主要な 業務・ 事業 及び 成果 の 概要	2路線において測量設計業務、1路線において用地測量登記業務を実施した。			
	○測量設計委託料 7,203千円			
	宇川斉宮線（丹後町宮） L=480m 測量・詳細設計 5,422千円			
	向町新町西線（久美浜町栄町） L=170m 測量・詳細設計 1,781千円			
	○土地購入費 3,435千円			
小泊東海岸線（丹後町間人） 1筆（190.82㎡）				
○事務費 48千円				
消耗品費、住民票等取得手数料				
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	10,688千円	
		実質的な予算執行率	99.9%	
	■平成28年度への繰越事業 6,075千円			
	・小泊東海岸線（丹後町間人） 平成28年10月完成予定 4,075千円			
	分筆登記委託料、土地購入費			
	・甲山兜山線（久美浜町甲山） 平成29年3月完成予定 2,000千円			
	調査設計委託料			
主な財源	市債 道路改良事業債（過疎対策債）			10,600千円
評価・課題等	通行に支障が生じている道路の改良のため道路改良事業を実施することにより、安心・安全な通行の確保に向け進捗を図った。			
事業所管課	建設部/土木課			

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	03過疎対策道路整備事業
細事業名	01 過疎対策道路整備事業（繰越）			決算書 P.280
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
16,201千円	19,300千円	3,099千円	83.9%	19,300千円

目的 道路施設の新設改良工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。

主要な事務・事業及び成果の概要

平成26年度から繰越した甲山兜山線について事業を実施した。

○甲山兜山線（久美浜町甲山）	16,201千円
・地質調査業務 L=750m	7,952千円
・測量設計業務 L=750m	4,065千円
・用地測量登記業務 L=750m	4,184千円

主な財源

市債	道路改良事業債（過疎対策債）	16,100千円
----	----------------	----------

評価・課題等

通行に支障が生じている道路施設の改修のため道路改良事業を実施することにより、安心・安全な通行の進捗を図った。

事業所管課 建設部/土木課

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細事業名	01 社会資本整備総合交付金事業			決算書 P.280
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
143,084千円	228,576千円	85,492千円	62.5%	332,379千円

目的 社会資本整備総合交付金を活用して道路新設改良工事及び橋梁修繕工事を実施することで、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に寄与する。

主要な事務・事業及び成果の概要

社会資本整備総合交付金事業として、4路線の新設、拡幅等の整備、市道橋梁の修繕を行った。また、京都府の河川改修工事に伴う橋梁改築負担金を支出した。

○新設改良、修繕事業 85,035千円

路線名	委託料	工事請負費	土地購入費	合計
郷新田岡線(網野町郷)	3,190	4,020	701	7,911
長田妹線(網野町網野)	2,031			2,031
栃谷口馬地線(久美浜町口馬地・三谷)		13,326		13,326
鹿野第一横断線(久美浜町鹿野・葛野)		5,339	602	5,941
管内一円橋梁修繕設計	22,560			22,560
明光寺橋ほか4橋		30,075		30,075
御旅橋ほか2橋載荷試験	3,191			3,191

○負担金 54,767千円
新庄川河川改修関連道路橋梁架替工事負担金（中田橋）

○事務費等 3,282千円
大判プリンター等保守料、旅費、消耗品、燃料費、通信運搬費、研修負担金

参考	繰越明許費を除いた最終予算額	143,492千円
	実質的な予算執行率	99.7%

■平成28年度への繰越事業 85,084千円

- 橋梁修繕設計・調査 平成28年7月完成 28,547千円
- 郷新田岡線ほか2路線 平成28年9月完成予定 30,340千円
- 長田妹線（測量設計） 平成28年10月完成予定 5,743千円
- 橋梁架替工事負担金（福田橋、中田橋） 平成29年3月完成予定 20,454千円

主な財源

国補	社会資本整備総合交付金（6/10）	65,876千円
市債	道路改良事業債（合併特例債）	50,900千円
市債	道路改良事業債（過疎対策債）	18,200千円

評価・課題等

○道路施設の新設改良工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。
○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。

事業所管課 建設部/土木課

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細事業名	01 社会資本整備総合交付金事業（繰越）			決算書 P.282
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
52,483千円	53,370千円	887千円	98.3%	53,370千円

目的 社会資本整備総合交付金を活用して道路新設改良事業及び橋梁維持修繕事業を実施することで、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に寄与する。

主要な事務・事業及び成果の概要 平成26年度から繰越した2路線について事業を実施した。また、京都府河川改修事業に伴う橋梁改築負担金を支出した。

○事業費 19,877千円

路線名	工事請負費	補償金	合計
呉服二箇前川原線（峰山町新治）	9,166		9,166
郷新田岡線（網野町郷）	10,539	172	10,711
合計	19,705	172	19,877

○負担金 32,606千円

福田川河川改修関連道路橋梁架替工事負担金（苗代橋） 7,101千円
 佐濃谷川河川改修関連道路橋梁架替工事負担金（橋ノ坪橋） 25,505千円

参考	繰越明許費を除いた最終予算額	74,463千円
	実質的な予算執行率	99.9%

■平成28年度への繰越事業 7,648千円
 ・橋梁点検調査書作成業務 平成28年7月完成 1,004千円
 ・舗装管理システム導入業務 平成28年9月完成予定 1,144千円
 ・舗装維持修繕計画策定業務 平成28年9月完成予定 5,500千円

主な財源	国補	社会資本整備総合交付金（6/10）	30,344千円
	市債	道路改良事業債（合併特例債）	11,200千円
	市債	道路改良事業債（過疎対策債）	10,200千円

評価・課題等 ○道路施設の新設改良工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。
 ○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。

事業所管課 建設部/土木課

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細事業名	02 社会資本整備総合交付金事業(効果促進事業)			決算書 P.280
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
74,414千円	82,111千円	7,697千円	90.6%	88,480千円

目的 道路施設の適正な管理を行うために社会資本整備総合交付金を活用し、橋梁、舗装、その他の付属物の点検を実施するとともに、点検結果に基づき修繕計画を作成する。

主要な事務・事業及び成果の概要 社会資本整備総合交付金事業（効果促進事業）として、路面、道路附属物の点検及び橋梁の点検を実施した。

○事業費 74,111千円

区分	委託料
路面性状調査業務（230km）	18,900千円
道路附属物点検業務（79基）	6,385千円
橋梁点検業務（202橋）	48,826千円
合計	74,111千円

○事務費 303千円
 旅費、消耗品費

主な財源	国補	社会資本整備総合交付金（6/10）	43,847千円
------	----	-------------------	----------

評価・課題等 ○道路事業と一体となり社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。今後も生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。
 ○橋梁点検においては、202橋の点検を行い5橋の危険橋梁が発見でき、事故の未然防止となった。残り636橋について、H30までに点検を完了させる必要がある。

事業所管課 建設部/土木課

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細事業名	02 社会資本整備総合交付金事業(効果促進事業) (繰越)			決算書 P.282
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
22,859千円	23,500千円	641千円	97.2%	23,500千円

目的 道路施設の適正な管理を行うために社会資本整備総合交付金を活用し、橋梁、舗装、その他の付属物の点検を実施するとともに、点検結果に基づき修繕計画を作成する。

主要な事業・事業及び成果の概要

平成26年度から繰越した橋梁点検業務、路面性状調査業務を行った。

○事業費 22,859千円

区分	委託料
路面性状調査業務 (285km)	19,440千円
橋梁点検業務 (3橋)	3,419千円
合計	22,859千円

主な財源 国補 社会資本整備総合交付金 (6/10) 13,715千円

評価・課題等

○道路事業と一体となり社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。
○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。

事業所管課 建設部/土木課

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	06橋梁長寿命化事業
細事業名	01 橋梁長寿命化事業 (繰越)			決算書 P.282
総合計画	計画項目 15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
29,595千円	29,986千円	391千円	98.6%	29,986千円

目的 市道橋梁の修繕計画を作成し、計画的な修繕を行うことにより橋梁の長寿命化を図る。

主要な事業・事業及び成果の概要

平成26年度から繰越した橋梁点検、橋梁補修詳細設計、橋梁補修工事を実施した。

○事業費 29,595千円

区分	委託料	工事請負費	合計
橋梁補修詳細設計業務 (6橋)	5,952千円		5,952千円
橋梁修繕用資材特別単価調査業務	216千円		216千円
橋梁定期点検業務 (7橋)	1,812千円		1,812千円
明光寺橋ほか3橋補修工事		21,615千円	21,615千円
合計	7,980千円	21,615千円	29,595千円

主な財源 国補 橋梁長寿命化修繕事業補助金 (6/10) 16,230千円
市債 道路改良事業債 (合併特例債) 9,300千円
市債 道路改良事業債 (過疎対策債) 2,700千円

評価・課題等

○橋梁点検の実施により、橋梁長寿命化計画の策定に必要なデータを収集した。
○橋梁の老朽化が進行していることから、橋梁長寿命化計画に基づき計画的な修繕を実施し、適正な状態を維持すること、全体修繕費用の抑制に努めていく必要がある。
○5年に一度の橋梁点検が義務付けられ、点検や修繕に対応できる体制の整備が必要である。

事業所管課 建設部/土木課

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	04除雪対策費	01除雪対策事業																					
細事業名	01 除雪事業			決算書	P.282																				
総合計画	計画項目	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																					
192,629千円	200,172千円	7,543千円	96.2%	170,173千円																					
目的	積雪時に除雪作業を行うことにより、円滑な道路交通を確保し、市民生活の安全・安心を図る。																								
主要な事務・事業及び成果の概要	除雪計画に基づき、市道及び府委託路線など関係機関と協力して速やかな除雪作業を行った。 ○平成27年度京丹後市除雪計画《概要》 ・除雪期間 平成27年12月1日～平成28年3月15日 ・作業実施基準 積雪深概ね10cm以上の降雪時に原則午前5時作業着手 ・除雪路線数及び延長 延べ2,731路線、総延長991.73km ・配備除雪機械 272台(市有機械145台、レンタル機械36台、業者機械91台) ・除雪作業委託契約相手方数 150団体(71業者、79地区) ○除雪作業出動日数内訳																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>町名</th> <th>全域出動</th> <th>一部出動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>2日</td> <td>5日</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>2日</td> <td>4日</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>2日</td> <td>3日</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>2日</td> <td>9日</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>2日</td> <td>18日</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>0日</td> <td>6日</td> </tr> </tbody> </table> ○除雪費用内訳 ・除雪機械維持管理費 44,891千円 ・除雪作業委託料 112,275千円 ・除雪機械レンタル料 34,779千円 ・除雪機械運転技能講習受講補助金 ※受講者20人(1/2補助) 160千円 ・その他(除雪車庫維持管理費・通信運搬費・印刷製本費) 524千円					町名	全域出動	一部出動	峰山町	2日	5日	大宮町	2日	4日	網野町	2日	3日	丹後町	2日	9日	弥栄町	2日	18日	久美浜町	0日
町名	全域出動	一部出動																							
峰山町	2日	5日																							
大宮町	2日	4日																							
網野町	2日	3日																							
丹後町	2日	9日																							
弥栄町	2日	18日																							
久美浜町	0日	6日																							
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金(2/3)	20,000千円																						
	府委	府道除雪作業委託金	21,995千円																						
	府委	歩道除雪作業委託金	749千円																						
	府委	丹後縦貫林道除雪作業委託金	561千円																						
	諸収入	伊根町風力発電所除雪作業委託金	113千円																						
評価・課題等	○除雪作業を行うことで、市民生活の安全・安心に資することができた。 ○除雪委託業者が減少傾向にあるため除雪業者の確保に努める必要がある。																								
事業所管課	建設部/管理課																								

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	04除雪対策費	01除雪対策事業	
細事業名	02 除雪機械等整備事業			決算書	P.282
総合計画	計画項目	15 北近畿新時代への飛躍する道路ネットワークの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
39,424千円	39,425千円	1千円	99.9%	49,000千円	
目的	除雪体制の維持充実に図るため、計画的に除雪機械を購入し、冬季積雪時における市民生活の安全・安心に資する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	除雪機械の新規配備及び老朽化の著しい除雪機械の更新を行った。 ○自治会貸与除雪機械(2台) ・丹後町井谷区(3t級) 4,342千円 ・久美浜町谷区(3t未級) 3,409千円 ○業者貸付除雪機械(3台) ・網野町溝野・俵野地域(8t級) 10,854千円 ・丹後町下宇川地域(13t級) 15,959千円 ・弥栄町和田野・鳥取・木橋地域(3t級) 4,860千円				
	主な財源	国補	防衛施設周辺対策事業補助金	11,726千円	
	市債	除雪機械等整備事業債(合併特例債)	14,900千円		
	市債	除雪機械等整備事業債(過疎対策債)	11,500千円		
評価・課題等	○積雪時の円滑な除雪を行うため、市内全域に除雪機械を配備し、冬季における安心・安全な市民生活の維持に資することができた。 ○老朽化した除雪機械の計画的な更新を進める必要がある。 ○除雪を受託している建設業者の廃業や除雪で使用する重機の保有数の減少に対応するため、除雪で使用する重機の確保に努め、除雪体制の維持充実に図る必要がある。				
事業所管課	建設部/管理課				

予算科目	08土木費	03河川費	01河川総務費	01急傾斜地崩壊対策事業
細事業名	01 急傾斜地崩壊対策事業			決算書 P.284
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
2,096千円	2,096千円	0千円	100.0%	2,000千円

目的	急傾斜地崩壊対策事業を推進し、住宅地背後の急峻な崖地の崩壊の危険を解消することで、災害から市民の生命・財産を守る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府が実施する丹後町平地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して負担金を支出した。</p> <p>○急傾斜地崩壊対策事業負担金 1,096千円 総事業費：21,935千円 事業内容：測量、地質調査、詳細設計、用地測量 市負担金：1,096千円（21,935千円×5%）</p> <p>○災害関連緊急土砂対策（急傾斜）事業負担金 1,000千円 総事業費：5,000千円 事業内容：測量、地質調査、詳細設計、用地測量 市負担金：1,000千円（5,000千円×20%）</p> <p>※地元分担金 539千円（事業費26,935千円×負担率2%）</p>			
主な財源	分担金	急傾斜地崩壊対策事業分担金	539千円	
	市債	急傾斜地崩壊対策事業債（防災対策事業債）	900千円	
評価・課題等	<p>○急傾斜地崩壊対策事業を実施したことにより、急傾斜地の崩壊による災害の防止が図られた。</p> <p>○京都府が策定した優先度評価による中長期整備計画に基づき、計画的に事業実施する必要がある。</p>			
事業所管課	建設部/管理課			

予算科目	08土木費	03河川費	01河川総務費	50河川総務一般経費
細事業名	01 河川総務一般経費			決算書 P.284
総合計画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
134千円	155千円	21千円	86.4%	155千円

目的	河川事業の円滑な実施を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>河川事業に必要な協会への負担金を支出した。</p> <p>○協会負担金 134千円 京都府砂防・治水・防災協会会費</p>			
主な財源				
評価・課題等	適切な事務の執行により、河川事業を推進することができた。			
事業所管課	建設部/管理課			

予算科目	08土木費	03河川費	02河川維持費	01河川維持管理事業				
細事業名	01 河川環境整備事業			決算書 P.284				
総合計画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額				
49,902千円	49,903千円	1千円	99.9%	49,899千円				
目的	河川に繁茂する雑草除去などの環境整備を行い、河川景観の保全及び災害・事故防止を図る。							
主要な事務・事業及び成果の概要	河川に繁茂する雑草除去などの環境整備作業を地区等への委託により実施した。							
	○河川環境整備委託料（府管理河川） 48,835千円 委託先：自治区、作業単価：25円/㎡ (単位：千円)							
	町名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
	箇所数	28	19	18	28	16	65	174
	金額	5,116	3,546	2,164	7,097	8,789	22,123	48,835
京都府が管理する2級河川の環境整備事業を、府から市が受託し、地区等への再委託により実施。								
○草刈委託料（市管理河川） 897千円 委託先：自治区等、作業単価：25円/㎡ (単位：千円)								
町名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	
箇所数	9	2	5	1	2	5	24	
金額	339	144	104	46	91	173	897	
○湯川放水路樋門管理委託料 170千円 (網野町木津地区)								
主な財源	府委	河川環境整備費委託金（10/10）		48,835千円				
	府委	湯川放水路樋門管理委託金（10/10）		170千円				
評価・課題等	○河川に繁茂する雑草を除去するなどの環境整備を行うことにより、河川景観の保全及び災害・事故等の未然防止に資することができた。 ○河川の草刈作業に従事する区民の高齢化等を理由に、作業の実施を辞退する地区があり、引き続き受諾いただけるようお願いするとともに、府管理河川の草刈については京都府による直接実施を働きかけていく。							
事業所管課	建設部/管理課							

予算科目	08土木費	03河川費	02河川維持費	01河川維持管理事業
細事業名	02 河川維持補修事業			決算書 P.284
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
13,976千円	20,204千円	6,228千円	69.1%	20,650千円
目的	通水等に支障が生じている河川施設の維持修繕及び維持管理を行い、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	3河川で維持修繕を行った。また、9河川で維持工事を実施した。			
	○河川維持修繕 1,119千円			
	・前田川（峰山町杉谷）	A=13㎡ 床版コンクリート	400千円	
	・待谷川（網野町網野）	落差工破損箇所修繕 3か所	324千円	
	・清水川（丹後町成願寺）	A=50㎡ 床版コンクリート	395千円	
○河川維持工事 12,857千円				
・小西川（峰山町小西）	L=6.3m 護岸工	2,595千円		
・中川（峰山町橋木）	L=40m 浚渫	2,920千円		
・東風ヶ奥水路（大宮町河辺）	L=5.1m 管渠工	843千円		
・幾坂川（大宮町周枳）	L=54.8m 護床工	657千円		
・石原川（丹後町徳光）	L=24.2m 床止工	795千円		
・中川・寺川（丹後町袖志）	L=6.8m 擁壁工	1,482千円		
・居地川（弥栄町芋野）	L=10m 擁壁・護床工	921千円		
・女布谷川（久美浜町女布）	L=116m 浚渫	1,195千円		
・河内川（久美浜町湊宮）	L=11m 浚渫	1,449千円		
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	14,104千円	
		実質的な予算執行率	99.0%	
■平成28年度への繰越事業 6,100千円				
・井ノ谷川（峰山町赤坂）	平成28年4月完成	1,700千円		
・公庄川（網野町郷）	平成28年4月完成	4,400千円		
主な財源				
評価・課題等	○河川維持のための修繕工事を行い、災害等の発生を未然に防止することができた。 ○災害等を未然に防止するため、今後も計画的に修繕を行い、河川施設の維持管理に努める必要がある。			
事業所管課	建設部/土木課			

予算科目	08土木費	03河川費	03河川新設改良費	01河川改修事業	
細事業名	01 河川改修事業（繰越）			決算書	P.286
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
5,476千円		6,517千円		1,041千円	84.0% 6,517千円
目的	通水等に支障が生じている河川施設の維持修繕及び維持管理を行い、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	平成26年度から繰越した西池新田水路改修工事を実施した。				
	○事業費				5,476千円
	区分		工事請負費		
西池新田水路改修工事（網野町網野）		5,476千円			
主な財源	市債	河川整備事業債（合併特例債）			5,200千円
評価・課題等	通水等に支障が生じている河川において、河川工事を実施し、浸水被害等の災害の発生を未然に防止することができた。				
事業所管課	建設部/土木課				

予算科目	08土木費	04都市計画費	01都市計画総務費	50都市計画総務一般経費	
細事業名	01 都市計画総務一般経費			決算書	P.286
総合計画	計画項目	14 計画的な土地利用の推進			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
542千円		684千円		142千円	79.2% 678千円
目的	都市計画業務の推進及び都市計画審議会の運営に係る事務を円滑に進める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	都市計画業務（事業）を推進する上で必要な事務を実施した。				
	○都市計画審議会の開催（3回）				197千円
	・委員報酬 164千円（4,000円×延べ41人）				
	・費用弁償 33千円				
	※委員数19人（報酬支払対象16人）				
	○都市計画マスタープラン説明会チラシ（1回発行）				33千円
※説明会の開催状況					
開催日		対象地区	会場	参加者	
平成28年3月22日		峰山地区	峰山総合福祉センター	20人	
平成28年3月23日		網野地区	ら・ぽーと	11人	
平成28年3月24日		大宮地区	アグリセンター大宮	10人	
○久美浜一区街路灯修理（1灯）				42千円	
○都市計画関連団体会費（4団体）				63千円	
○その他事務の経費					
職員旅費、書籍代、有料道路通行料、研修参加負担金				207千円	
久美浜一区街なみ整備施設管理費（公園水道代、街路灯保険料）					
主な財源	府補	土地利用規制対策費交付金			51千円
評価・課題等	○都市計画マスタープランを作成するため、都市計画審議会の開催及び住民説明会を実施した。 ○本計画の将来都市構造の推進に向け、整備方針の具体化について検討する必要がある。				
事業所管課	建設部/都市計画・建築住宅課				

予算科目	08土木費	04都市計画費	01都市計画総務費	50都市計画総務一般経費
細事業名	01 都市計画総務一般経費（繰越）			決算書 P.288
総合計画	計画項目	14 計画的な土地利用の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,294千円	3,294千円	0千円	100.0%	3,294千円
目的	新たな都市計画区域が平成27年3月31日に決定したため、京丹後市都市計画マスタープランを策定する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>都市計画法に基づき都市計画マスタープランを作成した。</p> <p>○京丹後市都市計画マスタープラン策定委託料 3,294千円</p> <p>※平成27年3月31日に新たな都市計画区域が定められたことを受け、都市計画区域内における将来のまちの姿と、その実現のための整備方針を明らかにするとともに、都市計画区域外への波及効果も想定しながら、市全体の活性化につなげるため、「京丹後市都市計画マスタープラン」を策定。</p>			
主な財源				
評価・課題等	第2次総合計画の都市機能構想を推進させるため、各拠点への都市機能の集約化や公共交通ネットワークに関する検討を行い、住民意見の聴取や都市計画審議会の答申を踏まえた上で、都市計画マスタープランを作成した。			
事業所管課	建設部/都市計画・建築住宅課			

予算科目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	01都市下水路維持整備事業
細事業名	01 都市下水路維持整備事業			決算書 P.288
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
42,689千円	42,859千円	170千円	99.6%	19,415千円
目的	峰山・網野都市下水路施設の維持管理を行い、住宅等への浸水被害を低減する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>網野都市下水路ポンプ施設等の修繕、更新及び点検を実施するとともに、風呂川と小栓川の護岸維持工事を実施した。</p> <p>○網野ポンプ施設維持管理経費 12,343千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気、水道代 3,590千円 ・修繕料 5,719千円 ・監視装置電話回線、メール配信 268千円 ・電気工作物保安管理委託 575千円 ・機械設備等点検委託 2,160千円 ・その他（保険料、ごみ処理代、消耗品） 31千円 <p>○網野下水路維持管理経費 4,662千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堆積土除去業務 3,910千円 ・草刈、浚渫業務 742千円 ・小栓川用地賃借料 10千円 <p>○工事請負費 25,684千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・護岸維持工事（風呂川、小栓川） 2,222千円 ・小栓川取合水路フラップゲート設置工事 778千円 ・浅茂川ポンプ場2号ポンプ更新等工事 21,038千円 ・内ヶ森ポンプ場通路等新設工事 1,646千円 			
主な財源	使用料	都市下水路占用料	117千円	
	市債	都市下水路整備事業債（合併特別債）	18,400千円	
評価・課題等	○施設を適切に維持管理することにより、浸水被害の低減に貢献することができた。 ○網野都市下水路全般において経年劣化が見られるため、計画的な修繕を行う必要がある。			
事業所管課	建設部/都市計画・建築住宅課			

予算科目	08土木費	04都市計画費	02都市下水道費	02内水処理対策事業					
細事業名	01 内水処理対策事業			決算書 P.288					
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額					
112,066千円	230,364千円	118,298千円	48.6%	288,964千円					
目的	社会資本整備総合交付金を活用し、公共下水道浸水対策事業を実施することにより、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。								
主要な 業務・ 事業 及び 成果 の 概要	<p>網野町地内の内水処理対策として、日本下水道事業団に委託し内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事を実施した。</p> <p>○委託料 111,339千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事（土木・建築工事） 53,110千円 内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事（機械・電気工事） 55,490千円 内水対策事業許認可設計業務 2,739千円 <p>○事務費 727千円</p> <p>普通旅費、消耗品、燃料費、印刷機借上料</p>								
	<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>112,103千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table> <p>■平成28年度への繰越事業 118,261千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事 平成28年9月完成予定 50,000千円 （土木・建築工事） 内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事 平成28年9月完成予定 62,800千円 （機械・電気工事） 内水対策事業許認可設計業務 平成28年9月完成予定 5,461千円 				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	112,103千円		実質的な予算執行率
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	112,103千円							
	実質的な予算執行率	99.9%							
主な 財源	国補 市債	浸水対策下水道事業補助金（5/10） 都市下水道整備事業債（合併特例債）	54,300千円 52,400千円						
評価 ・ 課題 等	○内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事を実施し、浸水被害防止対策が進捗した。 ○網野町網野地内の浸水被害軽減に向けて小栓川排水区の事業の許認可を進め、平成28年事業化及び早期に効果が発現するよう効率的に事業を実施する必要がある。								
事業所管課	建設部/土木課								

予算科目	08土木費	04都市計画費	02都市下水道費	02内水処理対策事業					
細事業名	01 内水処理対策事業（繰越）			決算書 P.288					
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額					
242,700千円	242,700千円	0千円	100.0%	242,700千円					
目的	社会資本整備総合交付金を活用し、公共下水道浸水対策事業を実施することにより、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。								
主要な 業務・ 事業 及び 成果 の 概要	<p>網野町地内の内水処理対策として、日本下水道事業団に委託し内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事を実施した。</p> <p>○委託料 242,700千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 内ヶ森第1雨水ポンプ場建設工事 239,400千円 内水処理全体計画作成業務 3,300千円 								
	<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>112,103千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	112,103千円		実質的な予算執行率
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	112,103千円							
	実質的な予算執行率	99.9%							
主な 財源	国補 市債	浸水対策下水道事業補助金（5/10） 都市下水道整備事業債（合併特例債）	119,700千円 113,700千円						
評価 ・ 課題 等	内ヶ森第1ポンプ場建設工事を実施し、浸水被害防止対策が進捗した。併せて、網野町網野地区の浸水被害対策へ向けて事業計画の策定を行った。								
事業所管課	建設部/土木課								

予算科目	08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業	
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.288	
総合計画	計画項目 14 計画的な土地利用の推進				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
57,743千円	64,100千円	6,357千円	90.0%	62,910千円	
目的	都市公園の峰山途中ヶ丘公園、峰山総合公園及び八丁浜シーサイドパークを適正に維持管理し、利用者が安全で安心して、かつ快適に利用できるようにする。				
主要な事務・事業及び成果の概要	適切な施設管理と利用者サービスの向上を図る事業を実施した。				
	○峰山途中ヶ丘公園、総合公園維持管理経費	37,332千円			
	・指定管理委託料	30,103千円			
	・公園長寿命化計画作成委託	5,464千円			
	・用地賃借料(借上面積:1,995㎡)	202千円			
	・備品購入(パソコン3台、サッカーゴール1対)	746千円			
	・その他(修繕料、公認手数料、看板電気代、保険料ほか)	817千円			
	○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費	16,597千円			
	・指定管理委託料	15,600千円			
	・その他(修繕料、保険料)	997千円			
○工事請負費他	3,814千円				
・峰山総合公園テニスコート改修工事	1,037千円				
・八丁浜シーサイドパーク芝生、区画線改修工事	2,387千円				
・都市公園愛称看板設置	390千円				
(参考) 都市公園利用状況					
施設名	利用数	利用料金	施設名	利用数	利用料金
峰山途中ヶ丘公園	86,397人	736千円	八丁浜シーサイドパーク	36,516人	269千円
峰山総合公園	79,820人	2,227千円	八丁浜有料駐車場	6,579台	3,290千円
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		57,836千円		
	実質的な予算執行率		99.8%		
■平成28年度への繰越事業					
・京丹後夢球場ラバーフェンス改修工事 平成28年4月完成 6,264千円					
主な財源	使用料	都市公園占用料	13千円		
	使用料	都市公園使用料	63千円		
	国補	公園事業費補助金(1/2)	2,500千円		
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	300千円		
評価・課題等	○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安全で安心な利用に資することができた。				
	○都市公園施設の老朽化対策として、峰山総合公園の長寿命化計画を作成した。この計画を踏まえて、適切な点検や計画的な補修、更新を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。				
事業所管課	建設部/都市計画・建築住宅課				

予算科目	08土木費	04都市計画費	04下水道整備費	01公共下水道事業特別会計繰出金	
細事業名	01 公共下水道事業特別会計繰出金			決算書 P.290	
総合計画	計画項目 18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
748,000千円	748,000千円	0千円	100.0%	748,000千円	
目的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に公共下水道事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	一般会計から公共下水道事業特別会計に対して繰出金を支出した。				
	[繰出金の主な内容] (単位:千円)				
	基準内	起債元金償還金	10,549	27,261	37,810
		起債利子償還金	4,078	7,903	11,981
		分流式下水道等経費	112,756	112,255	225,011
		高資本対策経費	0	29,978	29,978
		児童手当	1,356	240	1,596
	小計		128,739	177,637	306,376
	基準外	起債元金償還金	180,629	260,995	441,624
		施設維持管理費	0	0	0
建設改良費		0	0	0	
小計		180,629	260,995	441,624	
合計		309,368	438,632	748,000	
主な財源					
評価・課題等					
事業所管課	上下水道部/下水道整備課				

予算科目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	02市営住宅維持管理事業
細事業名	01 市営住宅維持管理事業			決算書 P.290
総合計画	計画項目 16 安全でうるおいのある住環境の整備			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
26,978千円	27,258千円	280千円	98.9%	29,399千円

目的	公営住宅と特定公共賃貸住宅の建物や施設に係る維持管理を行い、新たに入居する方及び既に入居している方へ良好な住宅を提供し、生活の安定と社会福祉の増進を図る。		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>公営住宅法に基づく市営住宅373戸と特定公共賃貸住宅4戸の建物や施設に係る維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修繕・環境整備 8,173千円 <ul style="list-style-type: none"> ・退去及び維持修繕(122件) 7,225千円 ・草刈、材木伐採、白アリ防除、施設清掃 948千円 ○清掃保守点検 126千円 <ul style="list-style-type: none"> 浄化槽検査、消防設備点検、貯水槽清掃点検 ○土地借上料(市営住宅6団地) 2,796千円 <ul style="list-style-type: none"> ※用地借上面積: 11,026.39㎡ ○堤団地改修工事実施設計委託 4,536千円 ○工事請負費 9,776千円 <ul style="list-style-type: none"> ・屋根葺替工事(長浜団地1戸、後ヶ浜団地2戸) 1,684千円 ・外壁改修工事(御陵団地) 8,092千円 ○その他事務の経費 1,571千円 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費、水道代、保険料ほか 		
主な財源	使用料	市営住宅使用料現年分	9,002千円
	国補	社会資本整備総合交付金	2,500千円
	国補	公的賃貸住宅家賃対策調整補助金(1/2)	2,147千円
	市債	市営住宅改修事業債(公営住宅建設事業債)	2,000千円
評価・課題等	<p>○住宅に困窮する方へ良好な住宅の提供を行うことで、入居者の生活の安定につなげることができた。</p> <p>○公営住宅ストック総合活用計画に基づき、堤団地の大規模改善事業を進め、さらに建替及び用途廃止を推進して、安心して暮らせる住宅を確保する必要がある。</p>		
事業所管課	建設部/都市計画・建築住宅課		

予算科目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	04スマート・エコ等住宅改修事業
細事業名	01 スマート・エコ等住宅改修事業			決算書 P.292
総合計画	計画項目 16 安全でうるおいのある住環境の整備			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
16,441千円	16,441千円	0千円	100.0%	20,000千円

目的	環境にやさしい住宅、子育てしやすい住宅、高齢者等が住みやすい住宅への工事費の一部を支援することにより、住環境整備を促進し、もって建設業の需要拡大を図る。														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>助成対象の改修工事を施工した182人に対して助成を行った。</p> <p>○スマート・エコ子育て等住宅改修費助成金 16,441千円</p> <p>【実績】</p> <p>1 主な工事による分類</p> <table border="1"> <tr> <th>主な工事</th> <th>交付件数</th> </tr> <tr> <td>スマート・エコ</td> <td>89件</td> </tr> <tr> <td>子育て</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー</td> <td>90件</td> </tr> </table> <p>2 申請の状況</p> <table border="1"> <tr> <th>申請件数</th> <th>助成対象金額(市内業者受注額)</th> </tr> <tr> <td>182件</td> <td>224,658千円</td> </tr> </table> <p>※制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成対象工事 <ul style="list-style-type: none"> スマート・エコ改修(エコキュート設置、窓の断熱、LED照明など) 子育て住宅改修(子ども部屋の増築又は改修など) バリアフリー改修(室内の段差解消、スロープ設置、トイレ・浴室改修など) ・助成金額 <ul style="list-style-type: none"> 対象経費: 500千円以上、補助率: 1/10(上限100千円) ・平成26年度及び平成27年度の2年間限定 			主な工事	交付件数	スマート・エコ	89件	子育て	3件	バリアフリー	90件	申請件数	助成対象金額(市内業者受注額)	182件	224,658千円
主な工事	交付件数														
スマート・エコ	89件														
子育て	3件														
バリアフリー	90件														
申請件数	助成対象金額(市内業者受注額)														
182件	224,658千円														
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金	10,000千円												
評価・課題等	<p>○住宅改修費の一部を支援することで、住宅環境整備を促進するとともに、市内建設業の需要拡大を図ることができた。</p> <p>○政策目的を持った住宅改修助成制度として、平成26年度及び平成27年度の2年間限定で実施した。今後、住宅政策に係る課題を把握し、状況に合った効果的な取組を検討する必要がある。</p>														
事業所管課	建設部/都市計画・建築住宅課														

予算科目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	05空家等対策事業
細事業名	01 空家等対策事業			決算書 P.292
総合計画	計画項目	16 安全でうるおいのある住環境の整備		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
922千円	940千円	18千円	98.0%	0千円
目的	空家等対策の推進に関する特別措置法の施行を踏まえ、適切な管理が行われていない空家等の現状を調査し、データベースを整備する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>適切な管理が行われていない空家等の現地調査を行った。</p> <p>○事務補助業務人材派遣委託料(1人) 922千円 派遣期間：平成27年10月15日～平成28年3月11日</p> <p>※空家等調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査期間：平成27年10月15日～平成28年3月11日 対象地区：市全域 調査方法：外観目視による調査 調査結果：調査対象物件200件、うち管理不全な空家91件 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○適切な管理が行われていない空家等について、場所を特定し外観調査を行うことで、その状況を把握しデータベース化することができた。</p> <p>○空家等対策計画を策定し、特定空家等判断、特定空家等に対する指導等を行っていく必要がある。</p>			
事業所管課	建設部/都市計画・建築住宅課			

予算科目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	50住宅一般経費
細事業名	01 住宅一般経費			決算書 P.292
総合計画	計画項目	16 安全でうるおいのある住環境の整備		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,408千円	1,496千円	88千円	94.1%	1,331千円
目的	市営住宅の維持管理及び建築事業に係る事務を円滑に進める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市営住宅の家賃算定や入居・退去等に係る事務を実施した。</p> <p>○市営住宅入居者選考委員会の開催(3回) 85千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員報酬 76千円 (4,000円×延べ19人) 費用弁償 9千円 ※委員数8人(報酬支払い対象7人) <p>○公営住宅管理システム保守委託料 146千円</p> <p>○建築事業事務経費 537千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築積算ソフトウェア借上料 490千円 建築関係講習会負担金 47千円 <p>○その他事務経費 640千円</p> <p>職員旅費、書籍代、印刷代、有料道路通行料ほか</p>			
主な財源	使用料	市営住宅使用料現年分	1,408千円	
評価・課題等	○市営住宅の入居募集を3回実施し、住宅に困窮する方への住宅提供ができた。			
事業所管課	建設部/都市計画・建築住宅課			

予算科目	08土木費	05住宅費	03住宅耐震事業費	01住宅・建築物耐震改修等事業	
細事業名	01 住宅・建築物耐震改修等事業			決算書	P.294
総合計画	計画項目	16 安全でうるおいのある住環境の整備			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
5,950千円		5,962千円		12千円	99.7%
					(参考)当初予算額 13,562千円

目的	住宅の耐震化率を引き上げ、地震時における人的被害を低減するとともに、建物倒壊による道路の閉塞を防ぐ。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>国の「建築物の耐震化緊急対策方針」による住宅の耐震化率を9割という目標を受け、昭和56年以前の木造住宅の耐震診断や耐震改修に係る費用の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務費（職員旅費） 50千円 ○木造住宅耐震診断委託料 500千円 50千円×10件 業務内容：京都府登録の木造住宅耐震診断士による木造住宅の耐震性の判定 対象建物：市内の木造住宅で昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた住宅 費用負担：診断料51千円のうち、市が48千円、申請者が3千円を負担 ○木造住宅耐震改修補助金 4,500千円 900千円×5件 補助内容：昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満のものを、耐震改修によりそれ以上とする工事に対して補助 補助金：改修工事等に要した費用の4分の3の額（その額が900千円を超えるときは900千円を限度） ○木造住宅簡易耐震改修補助金 900千円 300千円×3件 補助内容：昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満のものを、部分的な改修により耐震性が向上する工事に対して補助（屋根の軽量化・壁補強等） 補助金：改修工事等に要した費用の4分の3の額（その額が300千円を超えるときは300千円を限度） 				
主な財源	国補	建築物耐震改修等事業費補助金（耐震診断1/2、耐震改修1/4）	1,600千円		
	府補	建築物耐震改修等事業費補助金（耐震診断1/4、耐震改修1/2）	2,825千円		
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○「市耐震改修促進計画」に定める木造住宅耐震診断の目標総数200棟（平成27年度まで）を上回り、205棟の耐震診断を行った。 ○「市耐震改修促進計画」は、平成19年度から9年間（平成27年度まで）を計画期間としており、「京都府耐震改修促進計画」の改訂を踏まえて、見直しする必要がある。 				
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課				

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	01アミティー久美浜管理事業	
細事業名	01 アミティー久美浜管理事業			決算書	P.294
総合計画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
2,192千円		2,287千円		95千円	95.8%
					(参考)当初予算額 2,287千円

目的	適正な維持管理と活用により、地域の活性化を図る。								
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>アミティー久美浜公園を適正に管理するため、管理委託料等を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アミティー久美浜公園消耗品等 267千円 公衆トイレ用品、水道料、火災保険料、電気代 ○アミティー久美浜公園管理委託料 1,925千円 公園内の清掃及び芝生の施肥、除草、草刈、トイレ清掃 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>アミティー久美浜公園（28,154.39㎡） 京都府と京丹後市が整備した施設を一体的に管理しているものであり、京都府施設の管理に係る経費については京都府より委託金を受けている。</p> <p>（面積内訳）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">京都府</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">10,575.29㎡</td> </tr> <tr> <td>京丹後市</td> <td style="text-align: right;">17,579.10㎡</td> </tr> </table> </div>					京都府	10,575.29㎡	京丹後市	17,579.10㎡
京都府	10,575.29㎡								
京丹後市	17,579.10㎡								
主な財源	府委	アミティー久美浜公園管理委託金	1,598千円						
評価・課題等	アミティー久美浜公園の適正な管理により、市民や観光客へ憩いの場を提供し、地域活性化に寄与した。								
事業所管課	建設部／管理課								

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	50港湾総務一般経費
細事業名	01 港湾総務一般経費			決算書 P.294
総合計画	計画項目	6 美しい自然環境の次代への継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,114千円	1,259千円	145千円	88.4%	1,259千円
目的	久美浜港湾内の漂着ごみ等の清掃業務を港湾隣接自治会へ委託し、港湾管理及び久美浜湾環境保全業務の円滑な推進を図る。			
主要な業務・事業及び成果の概要	<p>京都府から受託した久美浜港の清掃事業及び十楽埋立地の管理(草刈り)事業を行うとともに、港湾事業を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○久美浜港湾清掃業務委託費(港湾隣接地区へ委託) 896千円 港湾隣接6地区：葛野、浦明、神崎、西本町、十楽、湊宮 ○十楽埋立地草刈業務委託(シルバー人材センターへ委託) 70千円 ○協会負担金 148千円 <ul style="list-style-type: none"> ・全国海岸協会費 30千円 ・京都府海岸協会費 68千円 ・日本港湾協会費 50千円 			
主な財源	府補	海岸漂着物地域対策推進事業	766千円	
評価・課題等	<p>○久美浜港湾内の清掃業務について、港湾に隣接している自治会へ委託し、港湾の環境保全を図ることができた。</p> <p>○久美浜港湾におけるプレジャーボートの係留禁止区域の設定や、新たな係留施設建設など漁業者とプレジャーボート利用者が共生できるよう京都府に要請する必要がある。</p>			
事業所管課	建設部/管理課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	02消防本部総務業務
細事業名	01 消防本部総務業務			決算書 P.296
総合計画	計画項目	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,839千円	11,142千円	303千円	97.2%	10,073千円
目的	消防業務の企画調整、消防施設の管理、消防職員の士気や知識の向上、被服の貸与及び安全衛生管理を行い、24時間体制の常備消防活動を維持し運用する。			
主要な業務・事業及び成果の概要	<p>消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー代、電話代等の支払い事務を行った。</p> <p>消防活動に万全の体制で対応するため、職員の健康管理・増進事業について積極的に取り組んだ。</p> <p>※消防吏員96人(平成28年3月末日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 534千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等 ○消耗品費 6,892千円 <ul style="list-style-type: none"> ・現任職員貸与被服等購入費(制服、活動服、救助服等) 1,909千円 ・平成28年度新規採用職員貸与被服等購入費(6人：制服等) 2,957千円 ・仮眠寝具等購入費 158千円 ・法令関係図書、事務用品、コピー代等 1,868千円 ○通信運搬費 1,477千円 <ul style="list-style-type: none"> ・NTT電話料金(各署所一般基本料・通話料、FAX、携帯電話基本料・通話料、郵便料金、久美浜有線放送料金等) ○肝炎ウィルス検診委託料等(H27年度新規採用3人、現任追加接種3人) 87千円 ○職員健康診断委託料 787千円 <ul style="list-style-type: none"> ・潜水業務健康診断(14人) B型・C型肝炎抗体検査(77人) ・労働安全衛生法に基づく消防職員第2回目健康診断料(77人) ○コピー機借上料、印刷機使用料、テレビ受信料等 483千円 ○全国消防長会等負担金等 401千円 ○その他事務経費等 178千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○職員の健康・安全管理を適切に行うことで、24時間体制の常備消防活動を維持・運用することができた。</p> <p>○事務用品、消耗品等の発注を本部総務課で一括して行うなど経費の削減に努めることができた。</p>			
事業所管課	消防本部/総務課			